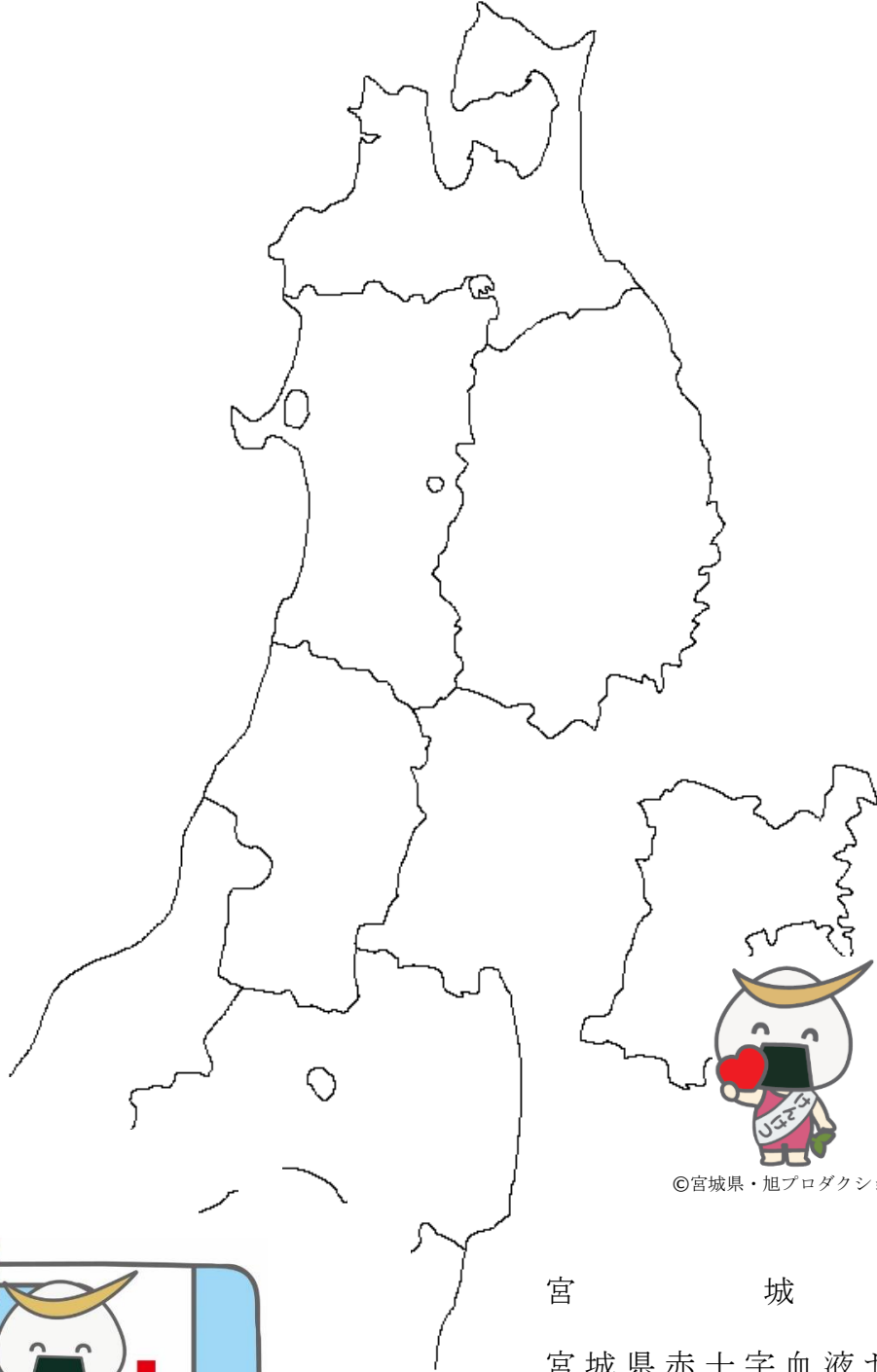


# 宮 城 県 の 献 血

— 令和 4 年度血液事業の実績 —



©宮城県・旭プロダクション



©宮城県・旭プロダクション

宮 城 県

宮城県赤十字血液センター

( 令 和 5 年 6 月 )

# 輸血用血液無償原則の決議

昭和 23 年第 17 回赤十字国際会議決議

血液は、与えるものも受けるものも可能なかぎり無償の原則をもとに、普遍的に実施すること。

## 献血の推進について

昭和 39 年 8 月 21 日閣議決定

政府は、血液事業の現状にかんがみ、可及的速やかに保存血液を献血により確保する体制を確立するため、国及び地方公共団体による献血思想の普及と献血の組織化を図るとともに、日本赤十字社または地方公共団体による献血受入れ体制の整備を推進するものとする。

## WHO（世界保健機構）勧告

昭和 50 年第 28 回WHO総会

無償献血を基本とする国営の血液事業を推進すること。

## 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（抜粋）

（昭和 31 年法律第 160 号）

（目的）

### 第一条

この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

（基本理念）

### 第三条

血液製剤は、その原料である血液の特性にかんがみ、その安全性の向上に常に配慮して、製造され、供給され、又は使用されなければならない。

- 血液製剤は、国内自給（国内で使用される血液製剤が原則として国内で行なわれる献血により得られた血液を原料として製造されることをいう。以下同じ。）が確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。
- 血液製剤は、献血により得られる血液を原料とする貴重なものであること、及びその原料である血液の特性にかんがみ、適正に使用されなければならない。
- 国、地方公共団体その他の関係者は、この法律に基づく施策の策定及び実施に当たっては、公正の確保及び透明性の向上が図られるよう努めなければならない。

# はじめに

宮城県の血液事業は昭和 36 年の東北血液銀行設立以来、県民の皆様の温かい善意と市町村をはじめとする献血推進団体の御尽力により進展して参りました。

令和 2 年 2 月以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大の懸念から各種イベントの自粛に伴う献血バスの運行休止が相次ぎ、献血への御協力が得られにくい状況が続いておりましたが、この様な中であっても令和 4 年度は、91,860 人と多くの方々に御協力をいただき、医療機関に安定的に血液製剤を供給することができたことは県民の皆様と関係者の皆様の御協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

さて、将来の血液の安定供給体制を確保するため、国は献血推進に係る新たな中期目標である「献血推進 2025」を令和 3 年 2 月に設定し、重点的な取組みとして「献血の普及啓発」「若年層対策の強化」「安心・安全で心の充足感が得られる環境の整備」を掲げました。本県においても、40 歳以上の献血者が全体の 6 割を越えているなど、若年層に対する献血の普及推進が急務となっております。

このことから、令和 5 年度は昨年度に引き続き、若者の人気と実力を兼ね揃えたプロサッカーチームのベガルタ仙台とのコラボにより、7 月の『愛の血液助け合い運動』の期間を含む 6 月から 7 月に、献血普及推進キャンペーンを実施するほか、献血セミナーや学校献血の普及を目的として県内の高等学校・大学等を対象に学校訪問を積極的に取り組むなど、若年層の献血に関する理解の向上に努めているところです。

他方、血液製剤の性質に目を向けますと、血液製剤は人体から採取された血液を原料としていることから、有限で貴重なものであると同時に、免疫性、感染性などの副作用や合併症の危険性を完全に排除することができない特徴があります。このため、血液製剤の使用にあたり、倫理的観点に基づく配慮と、その適正な使用を推進する必要があるとございます。

本県におきましては、平成 3 年に輸血療法に係る知識・技術の向上を目的として「宮城県臨床輸血研究会」が、また、平成 19 年に、血液製剤の使用適正化を図ることを目的として「宮城県合同輸血療法委員会」がそれぞれ発足し、以来、安全で適正な輸血医療の確立に向けて、多大な貢献をされております。

今後も市町村や赤十字血液センターをはじめとする関係機関と一体となって献血の推進を図り、血液の安定供給に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、県民の皆様の幅広い御理解と御協力をお願いします。

最後になりましたが、この「宮城県の献血」の作成にあたり、多くの関係者の御協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和 5 年 6 月

宮城県保健福祉部薬務課長

千 田 恵

## ご あ い さ つ

献血にご協力をいただいている県民の皆さま、企業、学校、ボランティア団体をはじめ、血液事業に携わる県業務課、保健所、市町村の皆さまには、日頃から献血運動の推進につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。特に令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大にもかかわらず、献血の必要性についてご理解をいただき、多くの献血者にご協力をいただきました。

日本赤十字社は、全国を7つのブロック(北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国、九州)に分けて、ブロック内の血液の需給バランスの調整を図る広域事業運営を行っています。

宮城県赤十字血液センターは、過疎化、少子高齢化が進む東北6県をエリアとする東北ブロックに属し、同ブロックの中でも人口が最も多く若年層の割合が高いことから、献血者確保の中心的な役割を担っています。また、輸血用血液製剤は、採血後限られた時間内で製造しなければならないため、面積の広い東北ブロックにおいては、製造業務を行う東北ブロック血液センターに隣接する宮城県赤十字血液センターが、医療機関の需要に応じて必要な血液を適時かつ迅速に確保するうえでも重要な役割を果たしています。

令和4年度の献血者数は91,860人(対前年度比-1.8%、1,687人減)となり、宮城県の目標献血者数91,954人に対して99.9%の実績となりました。心より厚く御礼申し上げます。

県内医療機関への輸血用血液の供給本数(200mL献血を1本として換算)は、282,684本(対前年度比-2.3%、6,728本減)となりました。

献血で確保された血漿分画製剤用の原料血漿は、東北6県で86,523L(対前年度比-0.2%、1,513L減)となり、国が定めた目標量83,867Lに対し達成率103.2%の実績となりました。

日本赤十字社では、輸血を受ける患者さんの副作用を少なくするため400mL献血を積極的に推進しており、宮城県の400mL献血率は、96.7%と医療機関からの需要に応じた血液を確保することができました。

献血種別では200mL・400mL及び血漿献血者数は増加し、血小板献血者数が減少していますが、分割製造用血小板献血が増加したことにより、医療機関からの需要に応じた血小板製剤を確保することができました。この分割製造用血小板献血は、1人の献血者からいただいた血小板を二分割して2人分の血小板製剤を製造する献血方法です。特に、分割製造用血小板献血は、有効期間が最も短い血小板製剤(採血後4日間)を過不足なく安定的に供給するために必要であり、宮城県では6,151人(対前年度比-7.4%、490人減)の皆さまにご協力をいただきました。

また、近年、少子高齢化が進む中で、10~30代の若年層献血者の減少が続いていることから、将来の献血基盤の構築に向け、高校、大学等学校での献血実施や献血可能年齢に達する前の小学生を対象とした「けんけつkidsサマースクール」等の献血セミナーの開催など、県、市町村をはじめ関係機関と連携しながら、若年層への献血の普及啓発に取り組んでいますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、献血セミナー開催や高校、大学等学校への献血バスの配車が大幅に減少致しました。

宮城県赤十字血液センターでは、国の掲げる基本方針に基づき、血液製剤の安全性の向上、献血者の安全と安定供給の確保のための献血推進・予約システムの活用(令和4年9月28日、献血WEB会員サービス「ラブブラッド」のアプリ化による受付業務(献血予約、問診回答)のデジタル化運用が開始されました。)、インターネットを用いた供給システムの拡充、事業の最大限の効率化及び合理化、適正かつ健全な事業運営に努めてまいりますので、今後とも皆さまのご理解ならびにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

宮城県赤十字血液センター  
所長 峯岸 正好



# 目 次

## I 令和4年度宮城県の献血の概要

### 1. 令和4年度献血状況

(1)献血目標	1
(2)献血実績	2
(3)受付・献血状況	2
(4)年度別献血者数の推移	3
(5)職業別・男女別献血者数	3
(6)年代別・男女別献血者数	4
(7)年度別・年代別献血者数の推移	5
(8)10代から30代の献血者数の推移	6
(9)高校生の献血状況	6
(10)施設別献血状況	7
(11)年度別初回献血者数の推移	7
(12)月別・施設別献血状況	8
(13)年度別移動採血と献血ルームの1稼働平均献血者数の推移	9
(14)保健所別管内献血状況及び年度別献血状況	10
(15)市町村別献血状況	11
(16)月別・市町村別献血状況	12
(17)年度別・市町村別献血者数の推移	15
(18)献血協力学校一覧	18
(19)市町村別移動採血実施場所(実数)	18

### 2. 令和4年度不採血状況

(1)不採血状況	19
(2)年度別不採血者数の推移	19

## II 令和4年度宮城県の血液製剤供給の概要

### 1. 令和4年度供給状況

(1)保健所別供給状況	20
(2)年度別県内供給状況の推移	21
(3)年度別・保健所別供給状況	21
(4)年度別照射血液製剤供給状況の推移(赤血球製剤)	22
(5)月別輸血用血液供給状況	22

### Ⅲ 令和4年度宮城県の献血推進事業の概要

1. 献血の推進体制.....	23
2. 血液製剤の使用適正化対策.....	23
3. イベント.....	25
4. 令和4年度表彰.....	26
5. その他献血関連事業.....	27
6. 令和4年度広報資料等の作成配布.....	28
7. 令和4年度献血推進行事開催状況.....	29
8. 学校・企業等への訪問について.....	30
9. 市町村による献血推進取組み事例の紹介.....	30

### Ⅳ 東北ブロック血液センター業務

1. 令和4年度製造状況.....	31
2. 令和4年度供給状況	
(1)輸血用血液供給状況.....	31
(2)輸血用血液の需給調整状況.....	32
3. 令和4年度原料血漿確保状況	
(1)原料血漿確保状況.....	32
(2)年度別原料血漿確保量の推移.....	32
4. 令和4年度検査状況	
(1)献血種類別検査不合格状況.....	33
(2)年度別・検査項目別検査不合格数の推移.....	33

### Ⅴ 参考資料

1. 広域事業運営について.....	34
2. 令和4年度都道府県別献血状況.....	35
3. 令和4年度都道府県別供給状況.....	36
4. 献血受入機関.....	37
5. 血液製剤供給機関.....	37
6. 宮城県の献血のあゆみ.....	38
7. 宮城県献血推進協議会条例.....	41
8. 宮城県献血推進協議会名簿.....	42

# I 令和4年度宮城県の献血の概要

## 1. 令和4年度献血状況

### (1) 献血目標

必要献血者数は 91,954 人。前年度より、327 人少ない目標であった。

(人)

			200mL 献血	400mL 献血	血漿献血	血小板 献血	計	
必要献血者数			1,489 [1,759]	59,440 [58,951]	19,343 [18,832]	11,682 [12,739]	91,954 [92,281]	
構成比			1.6%	64.6%	21.0%	12.7%	100%	
献血目標	献血ルーム	必要献血者数	733 [1,003]	21,780 [21,291]	19,343 [18,832]	11,682 [12,739]	53,538 [53,865]	
		構成比	1.4%	40.7%	36.1%	21.8%	100%	
	移動採血	必要献血者数	756 [756]	37,660 [37,660]			38,416 [38,416]	
		構成比	2.0%	98.0%			100%	
	移動採血内訳	仙台市	必要献血者数	289 [289]	9,672 [9,773]			9,961 [10,062]
			構成比	2.9%	97.1%			100%
		仙台市を 除く 市町村	必要献血者数	467 [467]	27,988 [27,887]			28,455 [28,354]
			構成比	1.6%	98.4%			100%

※[ ]内は、令和3年度の必要献血者数

※献血ルームは、仙台市内に2か所設置(AOBA、アエル20)している。

※移動採血は、献血バスと出張採血との合算である。出張採血は、会議室等に採血ベッドを設置して採血する方法である。

日本赤十字社は、ブロック内の血液の需給バランスの調整を図る広域事業運営を行っており、血液製剤の在庫は個々の都道府県単位ではなく広域的に一元管理することで、血液型別、製剤別のアンバランス是正、需要に見合った適切な採血計画の策定及び血液製剤の安定供給と有効活用を図っている。

東北6県の血液製剤を製造する日本赤十字社東北ブロック血液センターが所在する宮城県は、距離的条件から、採血後製剤化までの時間制限が短い血漿製剤用の血漿献血を重点的に担うこととなった。また、医療需要に応じた血液を確保するため、400mL 献血の推進に努めている。



**(2) 献血実績**

必要献血者数 91,954 人に対して、献血者数は 91,860 人であった。

(人)

			200mL 献血	400mL 献血	血漿献血	血小板献血	計	
献血者数			2,034 [1,489]	59,816 [59,440]	18,650 [19,343]	11,360 [11,682]	91,860 [91,954]	
構成比			2.2%	65.1%	20.3%	12.4%	100%	
献血実績	献血ルーム	献血者数	1,135 [733]	22,037 [21,780]	18,650 [19,343]	11,360 [11,682]	53,182 [53,538]	
		構成比	2.1%	41.4%	35.1%	21.4%	100%	
	移動採血	献血者数	899 [756]	37,779 [37,660]			38,678 [38,416]	
		構成比	2.3%	97.7%			100%	
	移動採血内訳	仙台市	献血者数	337 [289]	8,705 [9,762]			9,042 [9,961]
			構成比	3.7%	96.3%			100%
		仙台市を除く市町村	献血者数	562 [467]	29,074 [27,988]			29,636 [28,455]
			構成比	1.9%	98.1%			100%

※[ ]内は、令和4年度の必要献血者数

※献血ルームは、仙台市内に2か所設置(AOBA、アエル20)している。

※移動採血は、献血バスと出張採血との合算である。出張採血は、会議室等に採血ベッドを設置して採血する方法である。

**(3) 受付・献血状況**

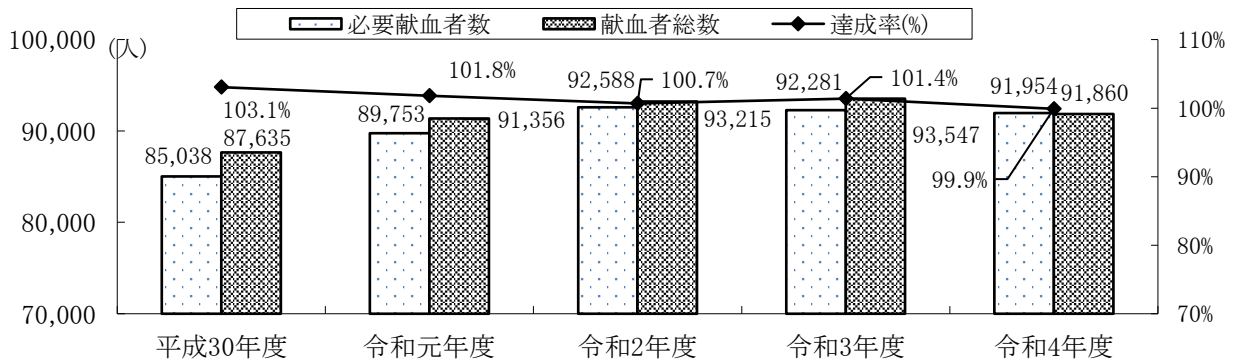
献血受付者は103,065人であり、そのうち91,860人に献血の協力を頂いた。

(人)

	献血受付数			献血者数			不採血者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
200mL 献血	631	2,230	2,861	527	1,507	2,034	104	723	827
400mL 献血	47,422	20,403	67,825	44,043	15,773	59,816	3,379	4,630	8,009
血漿献血	11,332	7,767	19,099	11,213	7,437	18,650	119	330	449
血小板献血	10,136	3,144	13,280	9,550	1,810	11,360	586	1,334	1,920
合計	69,521	33,544	103,065	65,333	26,527	91,860	4,188	7,017	11,205

**(4) 年度別献血者数の推移**

必要献血者数91,954人に対して、献血者数は91,860人であり、目標達成率は99.9%であった。

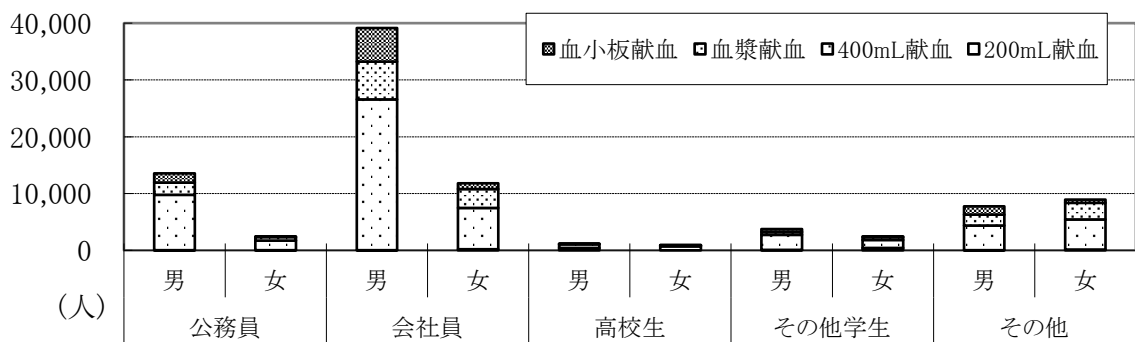


(人)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
必要献血者数		85,038	89,753	92,588	92,281	91,954	
献血者総数		87,635	91,356	93,215	93,547	91,860	
達成率		103.1%	101.8%	100.7%	101.4%	99.9%	
献血種別 献血者数	200mL 献血	必要献血者数	2,404	2,126	1,759	1,759	1,489
		実績	2,765	2,875	1,904	2,304	2,034
		達成率	115.0%	135.2%	108.2%	131.0%	136.6%
	400mL 献血	必要献血者数	56,904	57,985	58,951	58,951	59,440
		実績	57,220	58,041	58,425	59,089	59,816
		達成率	100.6%	100.1%	99.1%	100.2%	100.6%
	血漿献血	必要献血者数	18,942	20,211	18,892	18,832	19,343
		実績	20,252	21,580	21,439	20,731	18,650
		達成率	106.9%	106.8%	113.5%	110.1%	96.4%
	血小板献血	必要献血者数	6,788	9,431	12,986	12,739	11,682
		実績	7,398	8,860	11,447	11,423	11,360
		達成率	109.0%	93.9%	88.1%	89.7%	97.2%

**(5) 職業別・男女別献血者数**

職業別献血者数は、会社員が過半数を超える55.5%を占め、公務員が17.4%、高校生が2.2%であった。

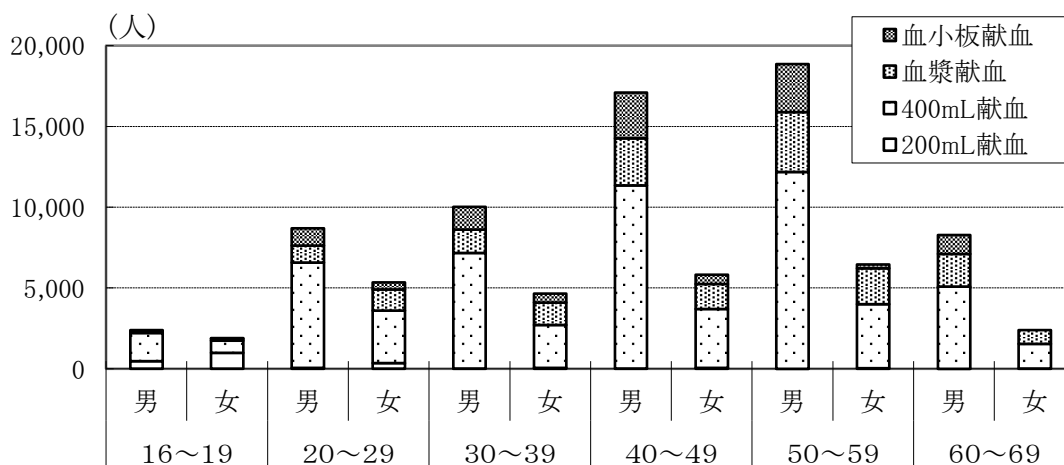


(人)

献血種別	公務員		会社員		高校生		その他学生		その他		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
200mL 献血	2	30	21	211	397	716	88	424	19	126	527	1,507
400mL 献血	9,751	1,673	26,572	7,242	687	148	2,666	1,405	4,367	5,305	44,043	15,773
血漿献血	2,163	630	6,615	3,337	22	31	507	492	1,906	2,947	11,213	7,437
血小板献血	1,619	104	5,938	1,005	15	5	507	132	1,471	564	9,550	1,810
合計	13,535	2,437	39,146	11,795	1,121	900	3,768	2,453	7,763	8,942	65,333	26,527
構成比	15,972		50,941		2,021		6,221		16,705		91,860	
	17.4%		55.5%		2.2%		6.8%		18.2%		100%	

(6)年代別・男女別献血者数

年代別では、50代が最も多く全年齢の27.6%であり、次いで40代、30代、20代が多かった。また、男女別では、男女共に50代が最も多かった。

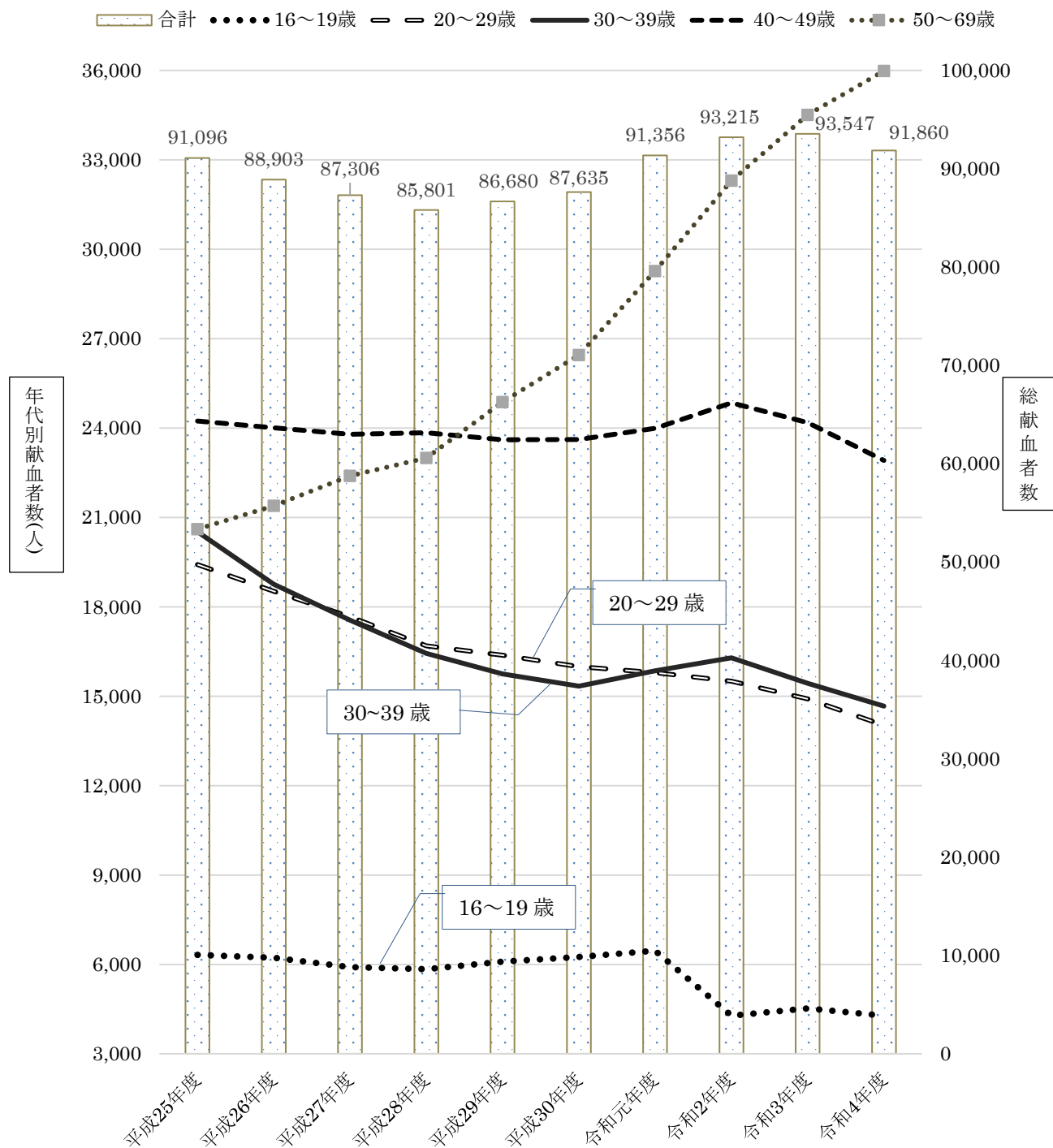


(人)

献血種別	16~19		20~29		30~39		40~49		50~59		60~69		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
200mL 献血	461	995	51	344	7	57	5	52	2	43	1	16	527	1,507
400mL 献血	1,751	740	6,518	3,260	7,167	2,651	11,339	3,640	12,180	3,956	5,088	1,526	44,043	15,773
血漿献血	89	126	1,052	1,312	1,436	1,392	2,920	1,554	3,701	2,210	2,015	843	11,213	7,437
血小板献血	88	30	1,063	423	1,414	543	2,834	568	2,977	246	1,174	0	9,550	1,810
合計	2,389	1,891	8,684	5,339	10,024	4,643	17,098	5,814	18,860	6,455	8,278	2,385	65,333	26,527
構成比	4.7%		15.3%		16.0%		24.9%		27.6%		11.6%		100%	

(7) 年度別・年代別献血者数の推移

少子高齢化が進む中、若年層(10代、20代、30代)の将来に向けた献血基盤確保が喫緊の課題となっている。

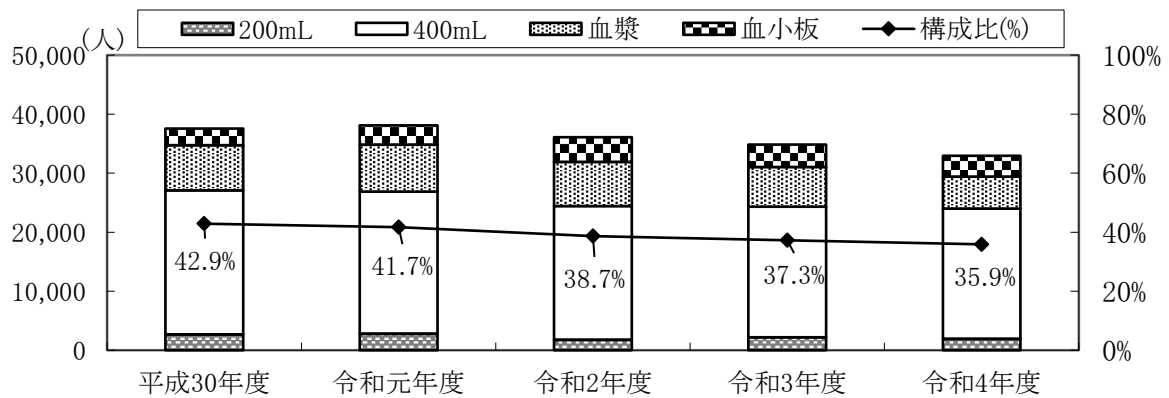


(人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
16~19 歳	6,323	6,221	5,911	5,841	6,096	6,246	6,459	4,279	4,518	4,280
20~29 歳	19,417	18,524	17,662	16,690	16,371	15,991	15,788	15,503	14,907	14,023
30~39 歳	20,519	18,760	17,555	16,434	15,743	15,340	15,855	16,288	15,434	14,667
40~49 歳	24,232	24,010	23,785	23,842	23,604	23,610	23,987	24,844	24,178	22,912
50~69 歳	20,605	21,388	22,393	22,994	24,866	26,448	29,267	32,301	34,510	35,978
合計	91,096	88,903	87,306	85,801	86,680	87,635	91,356	93,215	93,547	91,860

(8) 10代から30代の献血者数の推移

10代から30代の献血者数は32,970人で、献血者全体に占める割合は35.9%と減少している。

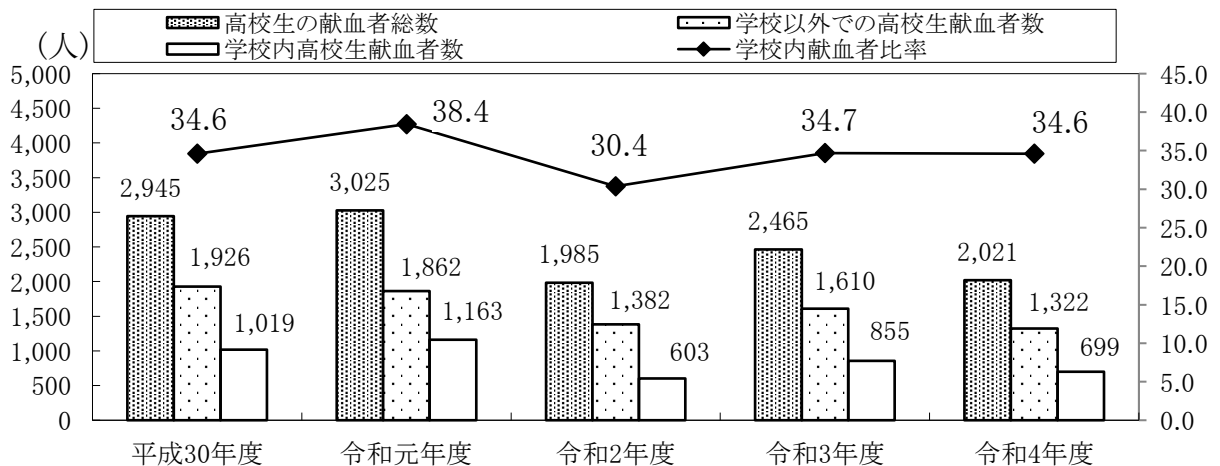


献血種別	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
200mL	634	2,044	2,678	743	2,024	2,767	475	1,303	1,778	600	1,592	2,192	519	1,396	1,915
400mL	17,591	6,821	24,412	17,034	7,045	24,079	15,836	6,799	22,635	15,574	6,566	22,140	15,436	6,651	22,087
血漿	3,767	3,872	7,639	4,030	3,974	8,004	3,697	3,823	7,520	3,115	3,618	6,733	2,577	2,830	5,407
血小板	2,185	663	2,848	2,522	730	3,252	3,054	1,083	4,137	2,700	1,094	3,794	2,565	996	3,561
合計	24,177	13,400	37,577	24,329	13,773	38,102	23,062	13,008	36,070	21,989	12,870	34,859	21,097	11,873	32,970
年度献血者数	87,635			91,356			93,215			93,547			91,860		
構成比	42.9%			41.7%			38.7%			37.3%			35.9%		

※構成比(%): 総献血者に占める、10代から30代の献血者人数の割合。

(9) 高校生の献血状況

新型コロナウイルス感染症感染拡大の懸念から、献血実施高等学校数は前年度と比較して2校減少し13校となった。高校生の献血者総数も前年度と比較して444人の減少となった。



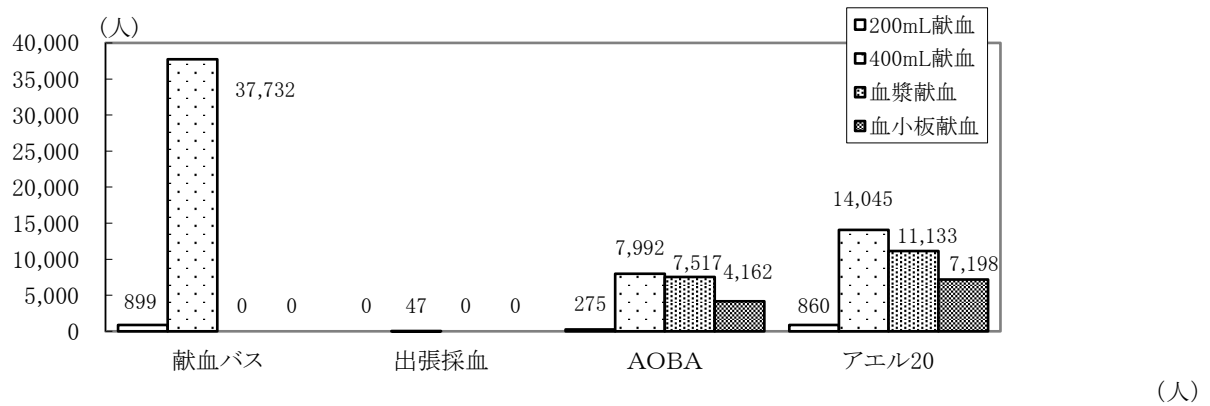
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県内の高等学校数(分校を含む)	校	94	94	95	95	95
県内の高等学校在学者数	人	59,942	58,803	57,157	55,329	54,112
高等学校 献血実施	献血実施高等学校数	校	28	27	17	15
	高等学校献血実施率	%	29.8	28.7	17.9	15.8
	延べ実施校数	校	30	30	21	22
	年複数回実施校数	校	2	3	3	5
	学校内高校生献血者数	人	1,019	1,163	603	855
高校生の献血者総数	人	2,945	3,025	1,985	2,465	2,021
学校以外での高校生献血者数	人	1,926	1,862	1,382	1,610	1,322
高校生の献血率	%	4.9	5.1	3.5	4.5	3.7
学校内献血者比率	%	34.6	38.4	30.4	34.7	34.6

※高等学校数・在学者数については宮城県震災復興・企画部統計課発表「令和4年度学校基本調査結果報告」に基づく。

※高等専門学校については含まない。

(10)施設別献血状況

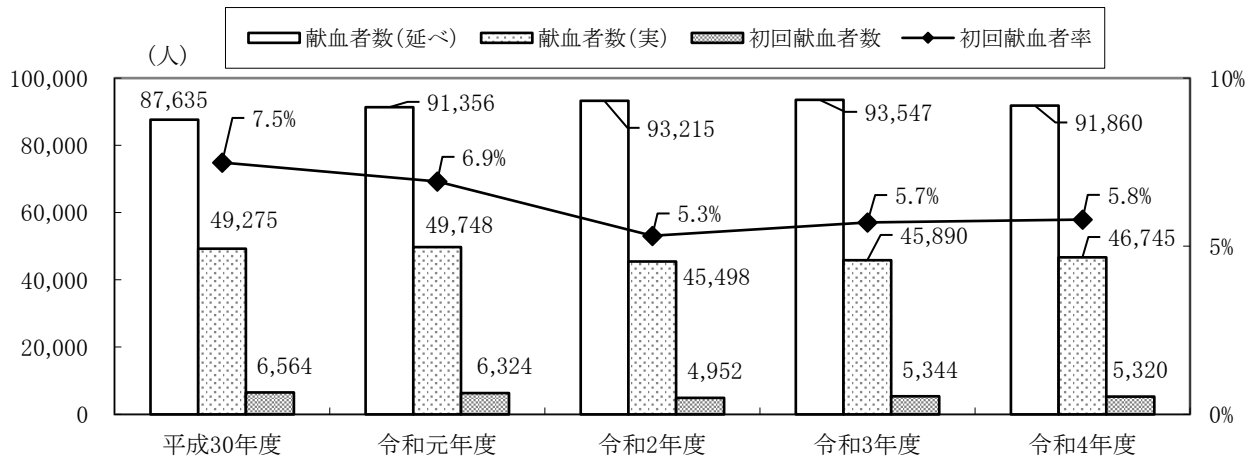
施設別に見ると移動採血における献血者数は38,678人、献血ルームにおける献血者数は53,182人であった。



	移動採血			献血ルーム			合計
	献血バス	出張採血	計	AOBA	アエル 20	計	
200mL 献血	899	0	899	275	860	1,135	2,034
400mL 献血	37,732	47	37,779	7,992	14,045	22,037	59,816
血漿献血				7,517	11,133	18,650	18,650
血小板献血				4,162	7,198	11,360	11,360
合計	38,631	47	38,678	19,946	33,236	53,182	91,860

(11)年度別初回献血者数の推移

初回献血者数は5,320人で、初回献血者率は5.8%と増加した。初回献血者に占める400mL献血者の割合も増加した。



	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
献血者数(延べ)	87,635	91,356	93,215	93,547	91,860
献血者数(実)	49,275	49,748	45,498	45,890	46,745
初回献血者数	6,564	6,324	4,952	5,344	5,320
初回 400mL 献血者数	4,865	4,550	3,792	3,922	4,034
初回献血者率	7.5%	6.9%	5.3%	5.7%	5.8%

※初回献血者率:献血者数(延べ)に占める、初回献血者数の割合。

(12) 月別・施設別献血状況

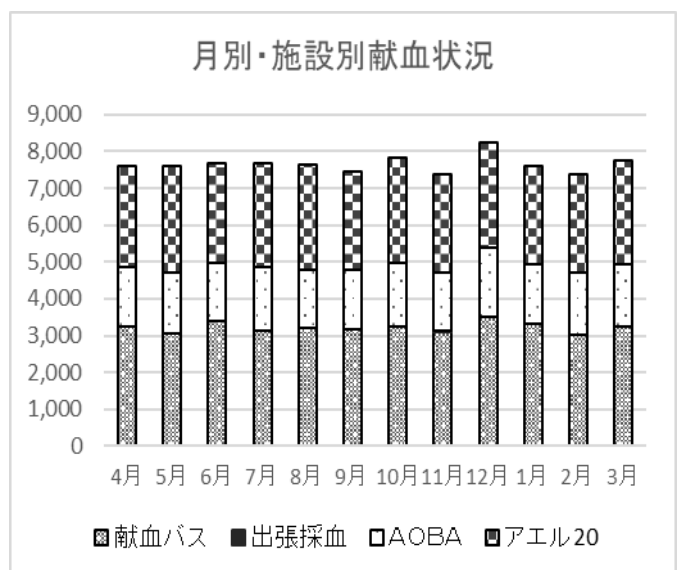
	献血バス				
	200mL	400mL	血漿	血小板	合計
4月	36	3,220			3,256
5月	115	2,957			3,072
6月	85	3,300			3,385
7月	91	3,033			3,124
8月	44	3,149			3,193
9月	127	3,057			3,184
10月	84	3,177			3,261
11月	90	2,994			3,084
12月	85	3,433			3,518
1月	86	3,236			3,322
2月	17	2,985			3,002
3月	39	3,191			3,230
合計	899	37,732			38,631

	出張採血				
	200mL	400mL	血漿	血小板	合計
4月	0	0			0
5月	0	0			0
6月	0	0			0
7月	0	0			0
8月	0	0			0
9月	0	0			0
10月	0	0			0
11月	0	47			47
12月	0	0			0
1月	0	0			0
2月	0	0			0
3月	0	0			0
合計	0	47			47

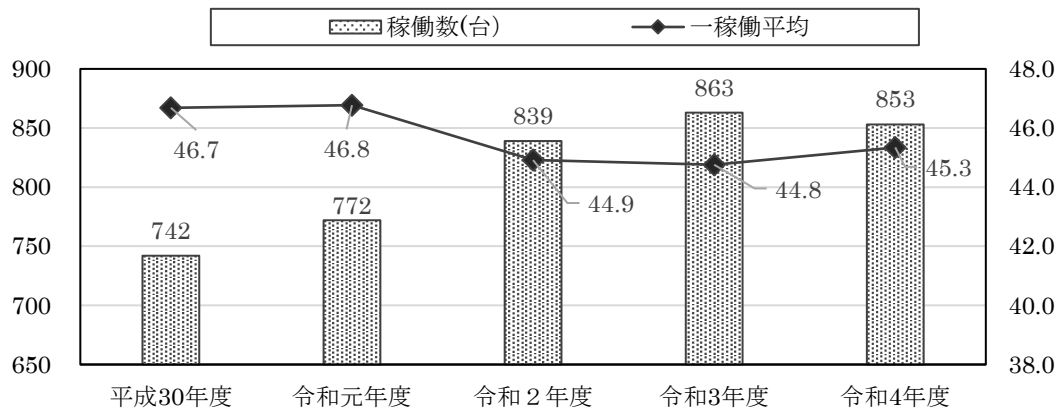
	AOBA				
	200mL	400mL	血漿	血小板	合計
4月	33	638	626	312	1,609
5月	21	692	609	323	1,645
6月	20	650	585	321	1,576
7月	23	683	656	361	1,723
8月	20	678	563	340	1,601
9月	14	633	585	361	1,593
10月	22	658	648	382	1,710
11月	17	583	649	337	1,586
12月	27	811	640	378	1,856
1月	21	634	662	315	1,632
2月	26	677	653	357	1,713
3月	31	655	641	375	1,702
合計	275	7,992	7,517	4,162	19,946

	アエル20				
	200mL	400mL	血漿	血小板	合計
4月	69	1,141	966	553	2,729
5月	70	1,197	1,053	571	2,891
6月	69	1,162	869	616	2,716
7月	73	1,197	957	603	2,830
8月	89	1,190	932	644	2,855
9月	64	1,093	915	605	2,677
10月	61	1,208	901	681	2,851
11月	55	1,115	871	620	2,661
12月	59	1,288	884	644	2,875
1月	73	1,107	918	560	2,658
2月	60	1,162	906	540	2,668
3月	118	1,185	961	561	2,825
合計	860	14,045	11,133	7,198	33,236

	総計				
	200mL	400mL	血漿	血小板	合計
4月	138	4,999	1,592	865	7,594
5月	206	4,846	1,662	894	7,608
6月	174	5,112	1,454	937	7,677
7月	187	4,913	1,613	964	7,677
8月	153	5,017	1,495	984	7,649
9月	205	4,783	1,500	966	7,454
10月	167	5,043	1,549	1,063	7,822
11月	162	4,739	1,520	957	7,378
12月	171	5,532	1,524	1,022	8,249
1月	180	4,977	1,580	875	7,612
2月	103	4,824	1,559	897	7,383
3月	188	5,031	1,602	936	7,757
合計	2,034	59,816	18,650	11,360	91,860

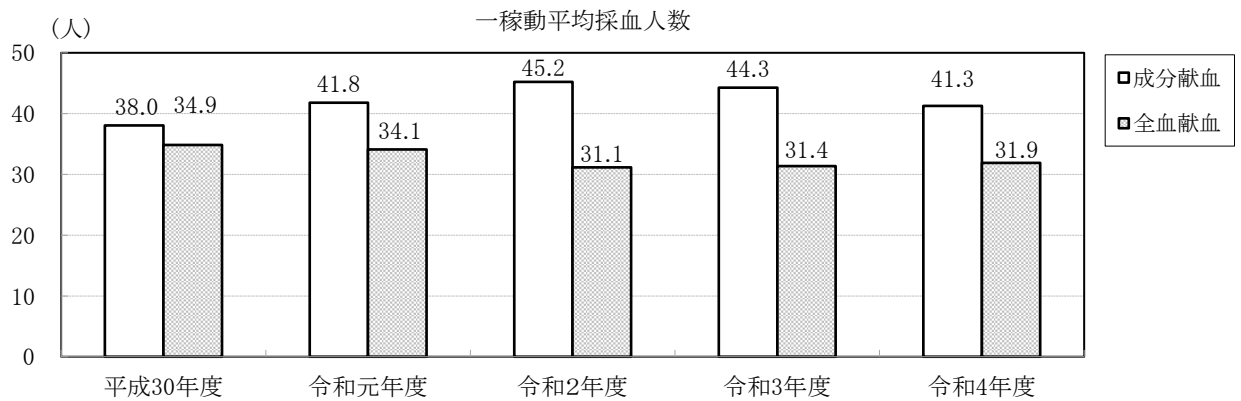


(13) 年度別移動採血と献血ルームの1稼働平均献血者数の推移  
 (移動採血) 令和4年度の1稼働平均献血者数は45.3人であった。



年度	稼働数(台)		献血者数(人)		1稼働平均 献血者数
	稼働	月平均	人数	月平均	
平成30年度	742	61.8	34,640	2,886.7	46.7
令和元年度	772	64.3	36,109	3,009.1	46.8
令和2年度	839	69.9	37,684	3,140.3	44.9
令和3年度	863	71.9	38,626	3,218.8	44.8
令和4年度	853	71.1	38,678	3,223.2	45.3

(献血ルーム) 令和4年度の1稼働平均献血者数は成分献血が41.3人、全血献血が31.9人であった。

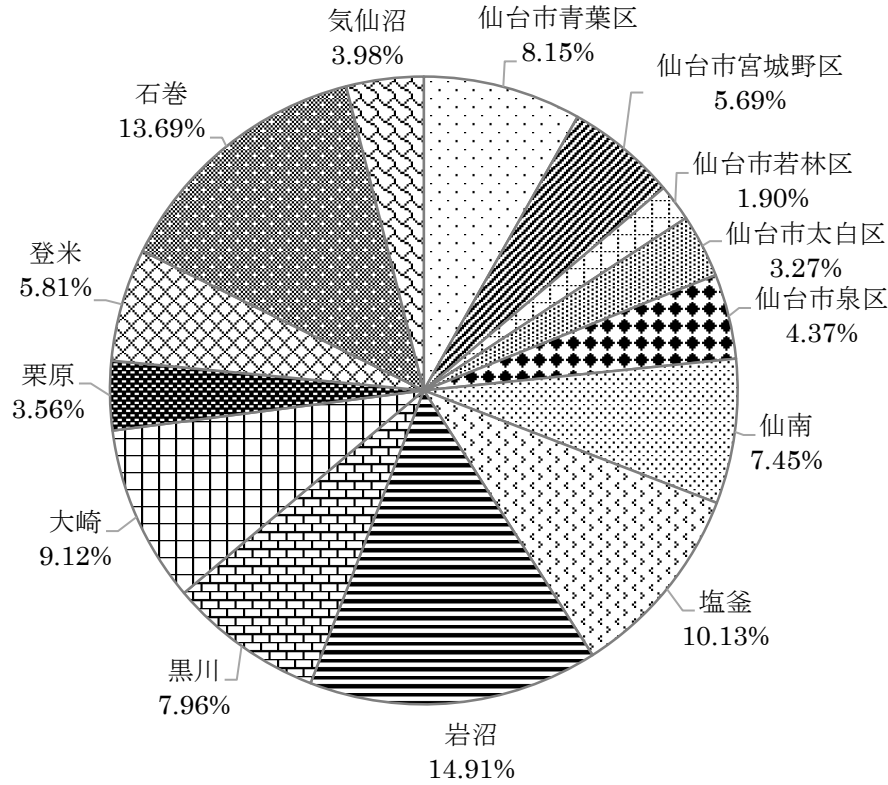


年度	稼働数(日)		献血者数(人)						1稼働平均 採血人数	
			成分献血		全血献血		計			
	稼働	月平均	人数	月平均	人数	月平均	人数	月平均	成分	全血
平成30年度	727	60.6	27,650	2,304.2	25,345	2,112.1	52,995	4,416.3	38.0	34.9
令和元年度	728	60.7	30,440	2,536.7	24,807	2,067.3	55,247	4,603.9	41.8	34.1
令和2年度	727	60.6	32,886	2,740.5	22,645	1,887.1	55,531	4,627.6	45.2	31.1
令和3年度	726	60.5	32,154	2,679.5	22,767	1,897.3	54,921	4,576.8	44.3	31.4
令和4年度	727	60.6	30,010	2,500.8	23,172	1,931.0	53,182	4,431.8	41.3	31.9



(14)保健所別管内献血状況及び年度別献血状況

※献血ルーム献血分を除く保健所別献血状況



(人)

保健所名	令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	200mL	400mL	成分	合計	200mL	400mL	成分	合計	200mL	400mL	成分	合計	200mL	400mL	成分	合計
合計	2,875	58,041	30,440	91,356	1,904	58,425	32,886	93,215	2,304	59,089	32,154	93,547	2,034	59,816	30,010	91,860
献血ルーム計	1,552	23,255	30,440	55,247	1,152	21,493	32,886	55,531	1,310	21,457	32,154	54,921	1,135	22,037	30,010	53,182
移動採血計	1,323	34,786	0	36,109	752	36,932	0	37,684	994	37,632	0	38,626	899	37,779	0	38,678
仙台市計	499	9,585	0	10,084	181	8,853	0	9,034	239	8,909	0	9,148	337	8,705	0	9,042
青葉区	145	3,575	0	3,720	36	3,258	0	3,294	55	3,192	0	3,247	104	3,048	0	3,152
宮城野区	89	2,572	0	2,661	45	2,407	0	2,452	36	2,348	0	2,384	17	2,185	0	2,202
若林区	74	1,112	0	1,186	1	683	0	684	0	692	0	692	3	733	0	736
太白区	41	959	0	1,000	20	1,195	0	1,215	36	1,307	0	1,343	50	1,213	0	1,263
泉区	150	1,367	0	1,517	79	1,310	0	1,389	112	1,370	0	1,482	163	1,526	0	1,689
仙南	74	3,358	0	3,432	43	3,019	0	3,062	36	2,626	0	2,662	42	2,841	0	2,883
塩釜	190	2,351	0	2,541	35	2,805	0	2,840	186	2,877	0	3,063	98	3,821	0	3,919
岩沼	110	3,983	0	4,093	153	5,207	0	5,360	152	5,605	0	5,757	137	5,631	0	5,768
黒川	36	2,585	0	2,621	42	2,823	0	2,865	80	3,415	0	3,495	53	3,027	0	3,080
大崎	114	3,311	0	3,425	62	3,863	0	3,925	55	3,715	0	3,770	42	3,484	0	3,526
栗原	20	1,413	0	1,433	13	1,577	0	1,590	31	1,419	0	1,450	24	1,353	0	1,377
登米	29	1,819	0	1,848	18	1,982	0	2,000	39	2,167	0	2,206	27	2,219	0	2,246
石巻	75	4,952	0	5,027	80	5,200	0	5,280	69	5,393	0	5,462	53	5,243	0	5,296
気仙沼	176	1,429	0	1,605	125	1,603	0	1,728	107	1,506	0	1,613	86	1,455	0	1,541

(15)市町村別献血状況

保健所・市町村名	必要献血者数 (人)			献血者数 (人)			献血種別構成比			移動採血 稼働数 (台)	移動採血 1稼働当		達成率		全血献血 における 400mL 献血率(%)	
	200mL	400mL	成分	200mL	400mL	成分	200mL	400mL	成分		採血 人数 (人)	採血量 (L)	200mL 400mL	成分		
合計	1,489	59,440	31,025	2,034	59,816	30,010	2.2%	65.1%	32.7%					101.1%	96.7%	96.7%
献血ルーム計	733	21,780	31,025	1,135	22,037	30,010	2.1%	41.4%	56.4%					102.1%	96.7%	95.1%
AOBA	174	8,059	11,798	275	7,992	11,679	1.4%	40.1%	58.6%					99.8%	99.0%	96.7%
アエル 20	559	13,721	19,227	860	14,045	18,331	2.6%	42.3%	55.2%					103.4%	95.3%	94.2%
移動採血計	756	37,660		899	37,779		2.3%	97.7%		853	45.3	17.9		100.5%		97.7%
仙台市	289	9,672		337	8,705		3.7%	96.3%		221.6	40.8	16.0		90.4%		96.3%
青葉区				104	3,048		3.3%	96.7%		76.7	41.1	16.2				96.7%
宮城野区				17	2,185		0.8%	99.2%		54.3	40.6	16.2				99.2%
若林区				3	733		0.4%	99.6%		18.8	39.1	15.6				99.6%
太白区				50	1,213		4.0%	96.0%		32.6	38.7	15.2				96.0%
泉区				163	1,526		9.7%	90.3%		39.2	43.1	16.4				90.3%
仙南	52	3,730		42	2,841		1.5%	98.5%		65.0	44.4	17.6		76.2%		98.5%
白石市	5	676		5	516		1.0%	99.0%		11.0	47.4	18.9		76.4%		99.0%
角田市	10	774		1	365		0.3%	99.7%		8.3	44.1	17.6		46.9%		99.7%
蔵王町	8	252		3	155		1.9%	98.1%		4.2	37.6	14.9		61.1%		98.1%
七ヶ宿町	4	28		0	23		0.0%	100.0%		1.0	23.0	9.2		76.7%		100.0%
大河原町	2	518		3	516		0.6%	99.4%		11.5	45.1	18.0		99.7%		99.4%
村田町	0	208		0	83		0.0%	100.0%		2.4	34.6	13.8		39.9%		100.0%
柴田町	10	904		21	820		2.5%	97.5%		18.6	45.2	17.9		91.4%		97.5%
川崎町	3	139		5	112		4.3%	95.7%		3.0	39.0	15.3		81.5%		95.7%
丸森町	10	231		4	251		1.6%	98.4%		5.0	51.0	20.2		107.2%		98.4%
塩釜	97	2,813		98	3,821		2.5%	97.5%		91.0	43.1	17.0		135.2%		97.5%
塩竈市	5	532		11	600		1.8%	98.2%		16.0	38.2	15.1		113.3%		98.2%
多賀城市	78	813		50	781		6.0%	94.0%		17.4	47.8	18.5		94.6%		94.0%
松島町	5	112		5	133		3.6%	96.4%		4.0	34.5	13.6		118.3%		96.4%
七ヶ浜町	2	274		1	245		0.4%	99.6%		5.0	49.2	19.6		89.3%		99.6%
利府町	7	1082		31	2,062		1.5%	98.5%		48.6	43.1	17.1		191.4%		98.5%
岩沼	72	3,658		137	5,631		2.4%	97.6%		128.2	45.0	17.8		154.3%		97.6%
名取市	65	2,603		125	4,522		2.7%	97.3%		101.0	46.0	18.2		174.0%		97.3%
岩沼市	1	547		5	596		0.8%	99.2%		15.6	38.5	15.3		109.3%		99.2%
亘理町	5	306		7	291		2.3%	97.7%		6.6	45.2	17.8		95.5%		97.7%
山元町	1	202		0	222		0.0%	100.0%		5.0	44.4	17.8		109.6%		100.0%
黒川	31	2,920		53	3,027		1.7%	98.3%		70.2	43.9	17.4		104.0%		98.3%
富谷市	16	1,472		36	1,792		2.0%	98.0%		38.7	47.2	18.7		122.3%		98.0%
大和町	15	763		17	660		2.5%	97.5%		18.7	36.2	14.3		86.8%		97.5%
大郷町	0	141		0	157		0.0%	100.0%		3.0	52.3	20.9		111.3%		100.0%
大衡村	0	544		0	418		0.0%	100.0%		9.8	42.7	17.1		76.8%		100.0%
大崎	91	3,953		42	3,484		1.2%	98.8%		75.0	47.0	18.7		87.7%		98.8%
大崎市	78	2,700		39	2,426		1.6%	98.4%		49.6	49.7	19.7		89.3%		98.4%
色麻町	5	147		0	126		0.0%	100.0%		3.0	42.0	16.8		84.3%		100.0%
加美町	5	669		1	450		0.2%	99.8%		9.4	48.0	19.2		67.1%		99.8%
涌谷町	1	134		0	99		0.0%	100.0%		3.0	33.0	13.2		73.6%		100.0%
美里町	2	303		2	383		0.5%	99.5%		10.0	38.5	15.4		126.3%		99.5%
栗原	6	1,541		24	1,353		1.7%	98.3%		29.0	47.5	18.8		88.4%		98.3%
栗原市	6	1,541		24	1,353		1.7%	98.3%		29.0	47.5	18.8		88.4%		98.3%
登米	10	2,327		27	2,219		1.2%	98.8%		43.3	51.9	20.6		95.7%		98.8%
登米市	10	2,327		27	2,219		1.2%	98.8%		43.3	51.9	20.6		95.7%		98.8%
石巻	46	5,370		53	5,243		1.0%	99.0%		98.7	53.7	21.4		97.7%		99.0%
石巻市	45	3,737		42	3,802		1.1%	98.9%		72.7	52.9	21.0		101.7%		98.9%
東松島市	1	1,187		11	1,091		1.0%	99.0%		20.0	55.1	21.9		92.3%		99.0%
女川町	0	446		0	350		0.0%	100.0%		6.0	58.3	23.3		78.5%		100.0%
気仙沼	62	1,676		86	1,455		5.6%	94.4%		31.0	49.7	19.3		87.8%		94.4%
気仙沼市	60	1,564		86	1,321		6.1%	93.9%		28.0	50.3	19.5		85.6%		93.9%
南三陸町	2	112		0	134		0.0%	100.0%		3.0	44.7	17.9		118.6%		100.0%

※達成率のうち「200mL400mL」欄は、200mL 献血を1人、400mL 献血を2人に換算して合算している。

## (16) 月別・市町村別献血状況

(人)

保健所・市町村名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	200mL 献血	138	206	174	187	153	205	167	162	171	180	103	188	2,034
	400mL 献血	4,999	4,846	5,112	4,913	5,017	4,783	5,043	4,739	5,532	4,977	4,824	5,031	59,816
	成分献血	2,457	2,556	2,391	2,577	2,479	2,466	2,612	2,477	2,546	2,455	2,456	2,538	30,010
	合計	7,594	7,608	7,677	7,677	7,649	7,454	7,822	7,378	8,249	7,612	7,383	7,757	91,860
献血ルーム計	200mL 献血	102	91	89	96	109	78	83	72	86	94	86	149	1,135
	400mL 献血	1,779	1,889	1,812	1,880	1,868	1,726	1,866	1,698	2,099	1,741	1,839	1,840	22,037
	成分献血	2,457	2,556	2,391	2,577	2,479	2,466	2,612	2,477	2,546	2,455	2,456	2,538	30,010
	合計	4,338	4,536	4,292	4,553	4,456	4,270	4,561	4,247	4,731	4,290	4,381	4,527	53,182
移動採血計	200mL 献血	36	115	85	91	44	127	84	90	85	86	17	39	899
	400mL 献血	3,220	2,957	3,300	3,033	3,149	3,057	3,177	3,041	3,433	3,236	2,985	3,191	37,779
	合計	3,256	3,072	3,385	3,124	3,193	3,184	3,261	3,131	3,518	3,322	3,002	3,230	38,678
仙台市	200mL 献血	14	51	34	24	13	60	43	40	38	13	1	6	337
	400mL 献血	658	748	760	884	761	764	616	740	683	827	591	673	8,705
	合計	672	799	794	908	774	824	659	780	721	840	592	679	9,042
青葉区	200mL 献血	7	17	3	3	13	10	30	12	1	2	1	5	104
	400mL 献血	289	243	154	191	449	227	139	245	337	363	229	182	3,048
	合計	296	260	157	194	462	237	169	257	338	365	230	187	3,152
宮城野区	200mL 献血	0	0	2	2	0	1	0	1	0	11	0	0	17
	400mL 献血	106	182	256	288	74	193	55	296	130	189	159	257	2,185
	合計	106	182	258	290	74	194	55	297	130	200	159	257	2,202
若林区	200mL 献血	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	400mL 献血	56	82	50	96	66	83	80	61	34	67	22	36	733
	合計	57	82	51	96	66	83	81	61	34	67	22	36	736
太白区	200mL 献血	0	18	12	1	0	1	12	6	0	0	0	0	50
	400mL 献血	37	180	93	107	76	80	217	36	123	53	135	76	1,213
	合計	37	198	105	108	76	81	229	42	123	53	135	76	1,263
泉区	200mL 献血	6	16	16	18	0	48	0	21	37	0	0	1	163
	400mL 献血	170	61	207	202	96	181	125	102	59	155	46	122	1,526
	合計	176	77	223	220	96	229	125	123	96	155	46	123	1,689
仙南	200mL 献血	0	2	7	12	1	2	7	2	6	0	0	3	42
	400mL 献血	121	199	402	188	259	57	435	204	277	179	237	283	2,841
	合計	121	201	409	200	260	59	442	206	283	179	237	286	2,883
白石市	200mL 献血	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	5
	400mL 献血	33	45	39	44	79	0	38	58	0	69	46	65	516
	合計	33	45	39	45	79	0	38	60	0	69	46	67	521
角田市	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	400mL 献血	0	0	49	57	0	0	116	16	9	52	28	38	365
	合計	0	0	49	57	0	0	117	16	9	52	28	38	366
蔵王町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	400mL 献血	0	0	48	0	19	0	30	0	41	0	17	0	155
	合計	0	0	48	0	19	0	33	0	41	0	17	0	158
七ヶ宿町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	400mL 献血	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	23
	合計	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	23
大河原町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	400mL 献血	80	33	52	0	48	0	118	95	35	0	0	55	516
	合計	80	33	52	0	48	0	121	95	35	0	0	55	519
村田町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	400mL 献血	8	0	0	15	16	0	0	22	0	0	22	0	83
	合計	8	0	0	15	16	0	0	22	0	0	22	0	83
柴田町	200mL 献血	0	0	2	11	1	2	0	0	4	0	0	1	21
	400mL 献血	0	35	177	72	43	57	66	13	140	58	93	66	820
	合計	0	35	179	83	44	59	66	13	144	58	93	67	841
川崎町	200mL 献血	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	400mL 献血	0	0	37	0	0	0	44	0	0	0	31	0	112
	合計	0	0	42	0	0	0	44	0	0	0	31	0	117
丸森町	200mL 献血	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
	400mL 献血	0	86	0	0	54	0	0	0	52	0	0	59	251
	合計	0	88	0	0	54	0	0	0	54	0	0	59	255

※成分献血は献血ルームのみで実施

(人)

保健所・市町村名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
塩釜	200mL 献血	2	35	6	11	0	4	8	6	17	7	2	0	98
	400mL 献血	199	244	375	431	248	354	298	245	441	228	482	276	3,821
	合計	201	279	381	442	248	358	306	251	458	235	484	276	3,919
塩竈市	200mL 献血	1	0	0	5	0	0	0	4	0	1	0	0	11
	400mL 献血	36	44	0	127	0	38	111	83	0	46	85	30	600
	合計	37	44	0	132	0	38	111	87	0	47	85	30	611
多賀城市	200mL 献血	0	34	0	0	0	1	0	0	14	0	1	0	50
	400mL 献血	0	36	109	56	35	124	0	18	246	0	64	93	781
	合計	0	70	109	56	35	125	0	18	260	0	65	93	831
松島町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
	400mL 献血	0	0	45	0	0	0	31	0	20	0	0	37	133
	合計	0	0	45	0	0	0	36	0	20	0	0	37	138
七ヶ浜町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	400mL 献血	0	0	63	0	0	42	0	39	0	0	101	0	245
	合計	0	0	63	0	0	42	0	40	0	0	101	0	246
利府町	200mL 献血	1	1	6	6	0	3	3	1	3	6	1	0	31
	400mL 献血	163	164	158	248	213	150	156	105	175	182	232	116	2,062
	合計	164	165	164	254	213	153	159	106	178	188	233	116	2,093
岩沼	200mL 献血	11	9	28	9	13	4	11	20	8	6	5	13	137
	400mL 献血	524	501	430	431	492	332	460	417	571	502	425	546	5,631
	合計	535	510	458	440	505	336	471	437	579	508	430	559	5,768
名取市	200mL 献血	11	9	28	8	13	4	3	20	8	6	2	13	125
	400mL 献血	434	439	278	343	472	277	252	362	509	472	262	422	4,522
	合計	445	448	306	351	485	281	255	382	517	478	264	435	4,647
岩沼市	200mL 献血	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	0	5
	400mL 献血	90	25	0	88	20	55	75	55	26	22	115	25	596
	合計	90	25	0	89	20	55	76	55	26	22	118	25	601
亘理町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7
	400mL 献血	0	0	108	0	0	0	76	0	0	8	0	99	291
	合計	0	0	108	0	0	0	83	0	0	8	0	99	298
山元町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	400mL 献血	0	37	44	0	0	0	57	0	36	0	48	0	222
	合計	0	37	44	0	0	0	57	0	36	0	48	0	222
黒川	200mL 献血	0	13	5	3	6	2	2	13	2	1	0	6	53
	400mL 献血	320	243	207	281	209	210	239	312	256	195	187	368	3,027
	合計	320	256	212	284	215	212	241	325	258	196	187	374	3,080
富谷市	200mL 献血	0	1	5	3	6	2	2	8	2	1	0	6	36
	400mL 献血	141	195	83	151	144	150	155	147	180	195	125	126	1,792
	合計	141	196	88	154	150	152	157	155	182	196	125	132	1,828
大和町	200mL 献血	0	12	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	17
	400mL 献血	76	48	22	88	65	0	6	91	76	0	47	141	660
	合計	76	60	22	88	65	0	6	96	76	0	47	141	677
大郷町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	400mL 献血	0	0	58	0	0	0	56	0	0	0	0	43	157
	合計	0	0	58	0	0	0	56	0	0	0	0	43	157
大衡村	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	400mL 献血	103	0	44	42	0	60	22	74	0	0	15	58	418
	合計	103	0	44	42	0	60	22	74	0	0	15	58	418

※成分献血は献血ルームのみで実施

(人)

保健所・市町村名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大崎	200mL 献血	1	1	0	3	2	8	6	3	1	12	1	4	42
	400mL 献血	227	354	313	254	197	412	332	196	317	349	167	366	3,484
	合計	228	355	313	257	199	420	338	199	318	361	168	370	3,526
大崎市	200mL 献血	1	1	0	2	2	8	6	1	1	12	1	4	39
	400mL 献血	227	162	206	163	163	361	218	128	191	320	128	159	2,426
	合計	228	163	206	165	165	369	224	129	192	332	129	163	2,465
色麻町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	400mL 献血	0	0	0	0	0	51	0	14	0	0	0	61	126
	合計	0	0	0	0	0	51	0	14	0	0	0	61	126
加美町	200mL 献血	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	400mL 献血	0	120	27	57	34	0	50	0	66	0	39	57	450
	合計	0	120	27	58	34	0	50	0	66	0	39	57	451
涌谷町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	400mL 献血	0	0	0	34	0	0	27	0	0	0	0	38	99
	合計	0	0	0	34	0	0	27	0	0	0	0	38	99
美里町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	400mL 献血	0	72	80	0	0	0	37	54	60	29	0	51	383
	合計	0	72	80	0	0	0	37	56	60	29	0	51	385
栗原	200mL 献血	0	0	0	20	0	0	1	0	1	1	1	0	24
	400mL 献血	142	65	97	66	227	134	105	0	161	205	151	0	1,353
	合計	142	65	97	86	227	134	106	0	162	206	152	0	1,377
栗原市	200mL 献血	0	0	0	20	0	0	1	0	1	1	1	0	24
	400mL 献血	142	65	97	66	227	134	105	0	161	205	151	0	1,353
	合計	142	65	97	86	227	134	106	0	162	206	152	0	1,377
登米	200mL 献血	3	3	2	1	2	3	1	2	9	0	0	1	27
	400mL 献血	235	127	216	127	243	209	89	203	303	150	140	177	2,219
	合計	238	130	218	128	245	212	90	205	312	150	140	178	2,246
登米市	200mL 献血	3	3	2	1	2	3	1	2	9	0	0	1	27
	400mL 献血	235	127	216	127	243	209	89	203	303	150	140	177	2,219
	合計	238	130	218	128	245	212	90	205	312	150	140	178	2,246
石巻	200mL 献血	4	1	2	7	7	7	3	4	3	5	5	5	53
	400mL 献血	593	418	287	322	472	474	357	594	391	464	427	444	5,243
	合計	597	419	289	329	479	481	360	598	394	469	432	449	5,296
石巻市	200mL 献血	3	1	2	6	7	6	3	3	3	3	3	2	42
	400mL 献血	441	302	246	255	282	405	285	337	233	348	319	349	3,802
	合計	444	303	248	261	289	411	288	340	236	351	322	351	3,844
東松島市	200mL 献血	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2	2	3	11
	400mL 献血	152	116	41	67	161	69	0	43	158	116	108	60	1,091
	合計	153	116	41	68	161	70	0	44	158	118	110	63	1,102
女川町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	400mL 献血	0	0	0	0	29	0	72	214	0	0	0	35	350
	合計	0	0	0	0	29	0	72	214	0	0	0	35	350
気仙沼	200mL 献血	1	0	1	1	0	37	2	0	0	41	2	1	86
	400mL 献血	201	58	213	49	41	111	246	130	33	137	178	58	1,455
	合計	202	58	214	50	41	148	248	130	33	178	180	59	1,541
気仙沼市	200mL 献血	1	0	1	1	0	37	2	0	0	41	2	1	86
	400mL 献血	201	58	165	49	41	111	204	130	33	137	134	58	1,321
	合計	202	58	166	50	41	148	206	130	33	178	136	59	1,407
南三陸町	200mL 献血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	400mL 献血	0	0	48	0	0	0	42	0	0	0	44	0	134
	合計	0	0	48	0	0	0	42	0	0	0	44	0	134

※成分献血は献血ルームのみで実施

## (17)年度別・市町村別献血者数の推移

(人)

保健所・市町村名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
合計	200mL 献血	2,765	2,875	1,904	2,304	2,034	献血者数計	87,635	91,356	93,215	93,547	91,860	
	400mL 献血	57,220	58,041	58,425	59,089	59,816	全血単位計	117,205	118,957	118,754	120,482	121,666	
	成分献血	27,650	30,440	32,886	32,154	30,010	400mL 献血者率	95.4%	95.3%	96.8%	96.2%	96.7%	
	合計	87,635	91,356	93,215	93,547	91,860							
献血ルーム計	200mL 献血	1,605	1,552	1,152	1,310	1,135	献血者数計	52,995	55,247	55,531	54,921	53,182	
	400mL 献血	23,740	23,255	21,493	21,457	22,037	全血単位計	49,085	48,062	44,138	44,224	45,209	
	成分献血	27,650	30,440	32,886	32,154	30,010	400mL 献血者率	93.7%	93.7%	94.9%	94.2%	95.1%	
	合計	52,995	55,247	55,531	54,921	53,182							
移動採血計	200mL 献血	1,160	1,323	752	994	899	献血者数計	34,640	36,109	37,684	38,626	38,678	
	400mL 献血	33,480	34,786	36,932	37,632	37,779	全血単位計	68,120	70,895	74,616	76,258	76,457	
	合計	34,640	36,109	37,684	38,626	38,678	400mL 献血者率	96.7%	96.3%	98.0%	97.4%	97.7%	
仙台市	200mL 献血	412	499	181	239	337	献血者数計	9,982	10,084	9,034	9,148	9,042	
	400mL 献血	9,570	9,585	8,853	8,909	8,705	全血単位計	19,552	19,669	17,887	18,057	17,747	
	合計	9,982	10,084	9,034	9,148	9,042	400mL 献血者率	95.9%	95.1%	98.0%	97.4%	96.3%	
	青葉区	200mL 献血	152	145	36	55	104	献血者数計	3,922	3,720	3,294	3,247	3,152
		400mL 献血	3,770	3,575	3,258	3,192	3,048	全血単位計	7,692	7,295	6,552	6,439	6,200
		合計	3,922	3,720	3,294	3,247	3,152	400mL 献血者率	96.1%	96.1%	98.9%	98.3%	96.7%
	宮城野区	200mL 献血	74	89	45	36	17	献血者数計	2,534	2,661	2,452	2,384	2,202
		400mL 献血	2,460	2,572	2,407	2,348	2,185	全血単位計	4,994	5,233	4,859	4,732	4,387
		合計	2,534	2,661	2,452	2,384	2,202	400mL 献血者率	97.1%	96.7%	98.2%	98.5%	99.2%
	若林区	200mL 献血	44	74	1	0	3	献血者数計	1,236	1,186	684	692	736
		400mL 献血	1,192	1,112	683	692	733	全血単位計	2,428	2,298	1,367	1,384	1,469
		合計	1,236	1,186	684	692	736	400mL 献血者率	96.4%	93.8%	99.9%	100.0%	99.6%
	太白区	200mL 献血	42	41	20	36	50	献血者数計	825	1,000	1,215	1,343	1,263
		400mL 献血	783	959	1,195	1,307	1,213	全血単位計	1,608	1,959	2,410	2,650	2,476
		合計	825	1,000	1,215	1,343	1,263	400mL 献血者率	94.9%	95.9%	98.4%	97.3%	96.0%
	泉区	200mL 献血	100	150	79	112	163	献血者数計	1,465	1,517	1,389	1,482	1,689
		400mL 献血	1,365	1,367	1,310	1,370	1,526	全血単位計	2,830	2,884	2,699	2,852	3,215
		合計	1,465	1,517	1,389	1,482	1,689	400mL 献血者率	93.2%	90.1%	94.3%	92.4%	90.3%
	仙南	200mL 献血	64	74	43	36	42	献血者数計	3,304	3,432	3,062	2,662	2,883
		400mL 献血	3,240	3,358	3,019	2,626	2,841	全血単位計	6,544	6,790	6,081	5,288	5,724
		合計	3,304	3,432	3,062	2,662	2,883	400mL 献血者率	98.1%	97.8%	98.6%	98.6%	98.5%
白石市		200mL 献血	5	3	9	2	5	献血者数計	617	583	554	453	521
		400mL 献血	612	580	545	451	516	全血単位計	1,229	1,163	1,099	904	1,037
		合計	617	583	554	453	521	400mL 献血者率	99.2%	99.5%	98.4%	99.6%	99.0%
角田市		200mL 献血	17	19	3	0	1	献血者数計	657	790	453	405	366
		400mL 献血	640	771	450	405	365	全血単位計	1,297	1,561	903	810	731
		合計	657	790	453	405	366	400mL 献血者率	97.4%	97.6%	99.3%	100.0%	99.7%
蔵王町		200mL 献血	6	5	0	0	3	献血者数計	217	206	180	146	158
		400mL 献血	211	201	180	146	155	全血単位計	428	407	360	292	313
		合計	217	206	180	146	158	400mL 献血者率	97.2%	97.6%	100.0%	100.0%	98.1%
七ヶ宿町		200mL 献血	6	2	6	0	0	献血者数計	35	31	35	29	23
		400mL 献血	29	29	29	29	23	全血単位計	64	60	64	58	46
		合計	35	31	35	29	23	400mL 献血者率	82.9%	93.5%	82.9%	100.0%	100.0%
大河原町		200mL 献血	1	1	1	2	3	献血者数計	495	484	463	502	519
		400mL 献血	494	483	462	500	516	全血単位計	989	967	925	1,002	1,035
		合計	495	484	463	502	519	400mL 献血者率	99.8%	99.8%	99.8%	99.6%	99.4%
村田町		200mL 献血	0	0	0	0	0	献血者数計	177	164	158	89	83
		400mL 献血	177	164	158	89	83	全血単位計	354	328	316	178	166
		合計	177	164	158	89	83	400mL 献血者率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
柴田町	200mL 献血	17	27	15	23	21	献血者数計	813	816	938	752	841	
	400mL 献血	796	789	923	729	820	全血単位計	1,609	1,605	1,861	1,481	1,661	
	合計	813	816	938	752	841	400mL 献血者率	97.9%	96.7%	98.4%	96.9%	97.5%	
川崎町	200mL 献血	5	9	5	1	5	献血者数計	84	140	141	113	117	
	400mL 献血	79	131	136	112	112	全血単位計	163	271	277	225	229	
	合計	84	140	141	113	117	400mL 献血者率	94.0%	93.6%	96.5%	99.1%	95.7%	
丸森町	200mL 献血	7	8	4	8	4	献血者数計	209	218	140	173	255	
	400mL 献血	202	210	136	165	251	全血単位計	411	428	276	338	506	
	合計	209	218	140	173	255	400mL 献血者率	96.7%	96.3%	97.1%	95.4%	98.4%	

※全血単位計は200mL 献血を1単位、400mL 献血を2単位に換算している。※400mL 献血者率は全血献血者数(200mL 献血者数+400mL 献血者数)に占める400mL 献血者数の割合。

保健所・市町村名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
塩釜	200mL 献血	156	190	35	186	98	献血者数計	2,317	2,541	2,840	3,063	3,919	
	400mL 献血	2,161	2,351	2,805	2,877	3,821	全血単位計	4,478	4,892	5,645	5,940	7,740	
	合計	2,317	2,541	2,840	3,063	3,919	400mL 献血者率	93.3%	92.5%	98.8%	93.9%	97.5%	
	塩竈市	200mL 献血	4	10	1	5	11	献血者数計	427	411	559	679	611
		400mL 献血	423	401	558	674	600	全血単位計	850	812	1,117	1,353	1,211
		合計	427	411	559	679	611	400mL 献血者率	99.1%	97.6%	99.8%	99.3%	98.2%
	多賀城市	200mL 献血	133	168	24	155	50	献血者数計	884	1,008	847	829	831
		400mL 献血	751	840	823	674	781	全血単位計	1,635	1,848	1,670	1,503	1,612
		合計	884	1,008	847	829	831	400mL 献血者率	85.0%	83.3%	97.2%	81.3%	94.0%
	松島町	200mL 献血	5	5	1	8	5	献血者計	123	152	153	157	138
		400mL 献血	118	147	152	149	133	全血単位計	241	299	305	306	271
		合計	123	152	153	157	138	400mL 献血者率	95.9%	96.7%	99.3%	94.9%	96.4%
	七ヶ浜町	200mL 献血	0	0	4	0	1	献血者計	232	226	227	251	246
		400mL 献血	232	226	223	251	245	全血単位計	464	452	450	502	491
		合計	232	226	227	251	246	400mL 献血者率	100.0%	100.0%	98.2%	100.0%	99.6%
利府町	200mL 献血	14	7	5	18	31	献血者計	651	744	1,054	1,147	2,093	
	400mL 献血	637	737	1,049	1,129	2,062	全血単位計	1,288	1,481	2,103	2,276	4,155	
	合計	651	744	1,054	1,147	2,093	400mL 献血者率	97.8%	99.1%	99.5%	98.4%	98.5%	
岩沼	200mL 献血	86	110	153	152	137	献血者計	3,450	4,093	5,360	5,757	5,768	
	400mL 献血	3,364	3,983	5,207	5,605	5,631	全血単位計	6,814	8,076	10,567	11,362	11,399	
	合計	3,450	4,093	5,360	5,757	5,768	400mL 献血者率	97.5%	97.3%	97.1%	97.4%	97.6%	
	名取市	200mL 献血	77	99	135	146	125	献血者計	2,217	2,972	4,370	4,888	4,647
		400mL 献血	2,140	2,873	4,235	4,742	4,522	全血単位計	4,357	5,845	8,605	9,630	9,169
		合計	2,217	2,972	4,370	4,888	4,647	400mL 献血者率	96.5%	96.7%	96.9%	97.0%	97.3%
	岩沼市	200mL 献血	2	1	7	4	5	献血者計	675	631	568	449	601
		400mL 献血	673	630	561	445	596	全血単位計	1,348	1,261	1,129	894	1,197
		合計	675	631	568	449	601	400mL 献血者率	99.7%	99.8%	98.8%	99.1%	99.2%
	亘理町	200mL 献血	7	10	11	2	7	献血者計	318	268	222	237	298
		400mL 献血	311	258	211	235	291	全血単位計	629	526	433	472	589
		合計	318	268	222	237	298	400mL 献血者率	97.8%	96.3%	95.0%	99.2%	97.7%
	山元町	200mL 献血	0	0	0	0	0	献血者計	240	222	200	183	222
		400mL 献血	240	222	200	183	222	全血単位計	480	444	400	366	444
		合計	240	222	200	183	222	400mL 献血者率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
黒川	200mL 献血	45	36	42	80	53	献血者計	2,466	2,621	2,865	3,495	3,080	
	400mL 献血	2,421	2,585	2,823	3,415	3,027	全血単位計	4,887	5,206	5,688	6,910	6,107	
	合計	2,466	2,621	2,865	3,495	3,080	400mL 献血者率	98.2%	98.6%	98.5%	97.7%	98.3%	
	富谷市	200mL 献血	24	14	35	59	36	献血者計	957	1,130	1,513	2,251	1,828
		400mL 献血	933	1,116	1,478	2,192	1,792	全血単位計	1,890	2,246	2,991	4,443	3,620
		合計	957	1,130	1,513	2,251	1,828	400mL 献血者率	97.5%	98.8%	97.7%	97.4%	98.0%
	大和町	200mL 献血	21	22	7	21	17	献血者計	872	913	826	731	677
		400mL 献血	851	891	819	710	660	全血単位計	1,723	1,804	1,645	1,441	1,337
		合計	872	913	826	731	677	400mL 献血者率	97.6%	97.6%	99.2%	97.1%	97.5%
	大郷町	200mL 献血	0	0	0	0	0	献血者計	152	111	209	167	157
		400mL 献血	152	111	209	167	157	全血単位計	304	222	418	334	314
		合計	152	111	209	167	157	400mL 献血者率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	大衡村	200mL 献血	0	0	0	0	0	献血者計	485	467	317	346	418
		400mL 献血	485	467	317	346	418	全血単位計	970	934	634	692	836
		合計	485	467	317	346	418	400mL 献血者率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※全血単位計は200mL 献血を1単位、400mL 献血を2単位に換算している。

※400mL 献血者率は全血献血者数(200mL 献血者数+400mL 献血者数)に占める400mL 献血者数の割合。

保健所・市町村名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
大崎	200mL 献血	104	114	62	55	42	献血者計	3,286	3,425	3,925	3,770	3,526	
	400mL 献血	3,182	3,311	3,863	3,715	3,484	全血単位計	6,468	6,736	7,788	7,485	7,010	
	合計	3,286	3,425	3,925	3,770	3,526	400mL 献血者率	96.8%	96.7%	98.4%	98.5%	98.8%	
	大崎市	200mL 献血	85	106	50	39	39	献血者計	2,207	2,277	2,811	2,631	2,465
		400mL 献血	2,122	2,171	2,761	2,592	2,426	全血単位計	4,329	4,448	5,572	5,223	4,891
		合計	2,207	2,277	2,811	2,631	2,465	400mL 献血者率	96.1%	95.3%	98.2%	98.5%	98.4%
	色麻町	200mL 献血	17	5	7	9	0	献血者計	163	160	121	108	126
		400mL 献血	146	155	114	99	126	全血単位計	309	315	235	207	252
		合計	163	160	121	108	126	400mL 献血者率	89.6%	96.9%	94.2%	91.7%	100.0%
	加美町	200mL 献血	0	1	3	5	1	献血者計	506	537	473	477	451
		400mL 献血	506	536	470	472	450	全血単位計	1,012	1,073	943	949	901
		合計	506	537	473	477	451	400mL 献血者率	100.0%	99.8%	99.4%	99.0%	99.8%
	涌谷町	200mL 献血	2	1	0	0	0	献血者計	150	153	184	136	99
		400mL 献血	148	152	184	136	99	全血単位計	298	305	368	272	198
		合計	150	153	184	136	99	400mL 献血者率	98.7%	99.3%	100.0%	100.0%	100.0%
美里町	200mL 献血	0	1	2	2	2	献血者計	260	298	336	418	385	
	400mL 献血	260	297	334	416	383	全血単位計	520	595	670	834	768	
	合計	260	298	336	418	385	400mL 献血者率	100.0%	99.7%	99.4%	99.5%	99.5%	
栗原	200mL 献血	19	20	13	31	24	献血者計	1,219	1,433	1,590	1,450	1,377	
	400mL 献血	1,200	1,413	1,577	1,419	1,353	全血単位計	2,419	2,846	3,167	2,869	2,730	
	合計	1,219	1,433	1,590	1,450	1,377	400mL 献血者率	98.4%	98.6%	99.2%	97.9%	98.3%	
	栗原市	200mL 献血	19	20	13	31	24	献血者計	1,219	1,433	1,590	1,450	1,377
		400mL 献血	1,200	1,413	1,577	1,419	1,353	全血単位計	2,419	2,846	3,167	2,869	2,730
		合計	1,219	1,433	1,590	1,450	1,377	400mL 献血者率	98.4%	98.6%	99.2%	97.9%	98.3%
登米	200mL 献血	30	29	18	39	27	献血者計	1,940	1,848	2,000	2,206	2,246	
	400mL 献血	1,910	1,819	1,982	2,167	2,219	全血単位計	3,850	3,667	3,982	4,373	4,465	
	合計	1,940	1,848	2,000	2,206	2,246	400mL 献血者率	98.5%	98.4%	99.1%	98.2%	98.8%	
	登米市	200mL 献血	30	29	18	39	27	献血者計	1,940	1,848	2,000	2,206	2,246
		400mL 献血	1,910	1,819	1,982	2,167	2,219	全血単位計	3,850	3,667	3,982	4,373	4,465
		合計	1,940	1,848	2,000	2,206	2,246	400mL 献血者率	98.5%	98.4%	99.1%	98.2%	98.8%
石巻	200mL 献血	108	75	80	69	53	献血者計	5,031	5,027	5,280	5,462	5,296	
	400mL 献血	4,923	4,952	5,200	5,393	5,243	全血単位計	9,954	9,979	10,480	10,855	10,539	
	合計	5,031	5,027	5,280	5,462	5,296	400mL 献血者率	97.9%	98.5%	98.5%	98.7%	99.0%	
	石巻市	200mL 献血	96	64	71	55	42	献血者計	3,659	3,821	3,989	3,912	3,844
		400mL 献血	3,563	3,757	3,918	3,857	3,802	全血単位計	7,222	7,578	7,907	7,769	7,646
		合計	3,659	3,821	3,989	3,912	3,844	400mL 献血者率	97.4%	98.3%	98.2%	98.6%	98.9%
	東松島市	200mL 献血	8	8	9	14	11	献血者計	854	703	1,211	1,290	1,102
		400mL 献血	846	695	1,202	1,276	1,091	全血単位計	1,700	1,398	2,413	2,566	2,193
		合計	854	703	1,211	1,290	1,102	400mL 献血者率	99.1%	98.9%	99.3%	98.9%	99.0%
	女川町	200mL 献血	4	3	0	0	0	献血者計	518	503	80	260	350
		400mL 献血	514	500	80	260	350	全血単位計	1,032	1,003	160	520	700
		合計	518	503	80	260	350	400mL 献血者率	99.2%	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%
気仙沼	200mL 献血	136	176	125	107	86	献血者計	1,645	1,605	1,728	1,613	1,541	
	400mL 献血	1,509	1,429	1,603	1,506	1,455	全血単位計	3,154	3,034	3,331	3,119	2,996	
	合計	1,645	1,605	1,728	1,613	1,541	400mL 献血者率	91.7%	89.0%	92.8%	93.4%	94.4%	
	気仙沼市	200mL 献血	130	170	125	107	86	献血者計	1,429	1,441	1,609	1,503	1,407
		400mL 献血	1,299	1,271	1,484	1,396	1,321	全血単位計	2,728	2,712	3,093	2,899	2,728
		合計	1,429	1,441	1,609	1,503	1,407	400mL 献血者率	90.9%	88.2%	92.2%	92.9%	93.9%
	南三陸町	200mL 献血	6	6	0	0	0	献血者計	216	164	119	110	134
		400mL 献血	210	158	119	110	134	全血単位計	426	322	238	220	268
		合計	216	164	119	110	134	400mL 献血者率	97.2%	96.3%	100.0%	100.0%	100.0%

※全血単位計は200mL 献血を1単位、400mL 献血を2単位に換算している。

※400mL 献血者率は全血献血者数(200mL 献血者数+400mL 献血者数)に占める400mL 献血者数の割合。



**(18) 献血協力学校一覧****高等学校(17校)**

東北高等学校	宮城県塩釜高等学校	宮城県柴田農林高等学校川崎校
仙台育英学園高等学校	宮城県亘理高等学校	古川学園高等学校
仙台市立仙台工業高等学校	東北学院榴ヶ岡高等学校	東陵高等学校
仙台白百合学園高等学校	宮城県伊具高等学校	宮城県迫桜高等学校
宮城県佐沼高等学校	宮城県登米総合産業高等学校	宮城県柴田高等学校
宮城県松島高等学校	宮城県松山高等学校	

**大学(7校)**

宮城大学	東北工業大学	宮城教育大学
仙台大学	石巻専修大学	宮城学院女子大学
東北学院大学		

**高等専門学校等(2校)**

仙台高等専門学校	宮城県立白石高等技術専門校
----------	---------------

**専修学校等(7校)**

赤門鍼灸柔整専門学校	仙台理容美容専門学校	仙台リハビリテーション専門学校
仙台接骨医療専門学校	東北職業能力開発大学校	仙台保健福祉専門学校
専門学校デジタルアーツ仙台		

**(19) 市町村別移動採血実施場所(実数) 仙台市<161か所> 仙台市以外<321か所> 合計<482か所>**

市町村名	場所数	市町村名	場所数	市町村名	場所数
合計	482	多賀城市	9	亘理町	7
仙台市	161	岩沼市	15	山元町	6
青葉区	52	登米市	19	松島町	2
宮城野区	32	栗原市	27	七ヶ浜町	3
若林区	21	東松島市	4	利府町	8
太白区	25	大崎市	29	大和町	14
泉区	31	富谷市	9	大郷町	4
仙台市以外	321	蔵王町	3	大衡村	7
石巻市	30	七ヶ宿町	1	色麻町	3
塩竈市	13	大河原町	9	加美町	11
気仙沼市	14	村田町	3	涌谷町	4
白石市	7	柴田町	14	美里町	11
名取市	17	川崎町	3	女川町	3
角田市	9	丸森町	2	南三陸町	1

※移動採血実施場所については、同じ場所で2回以上実施しても1か所として数える。

## 2. 令和4年度不採血状況

### (1) 不採血状況

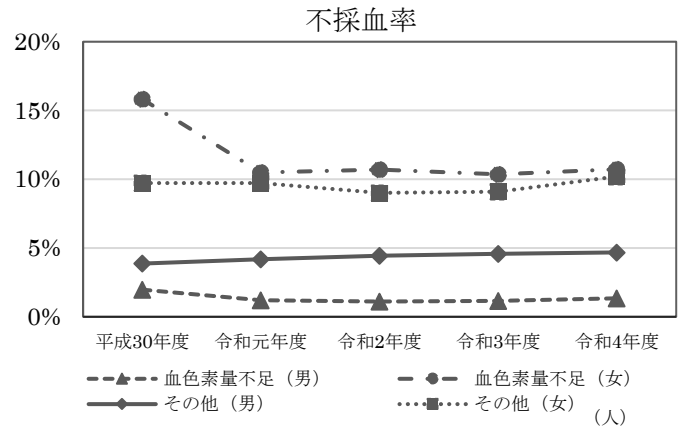
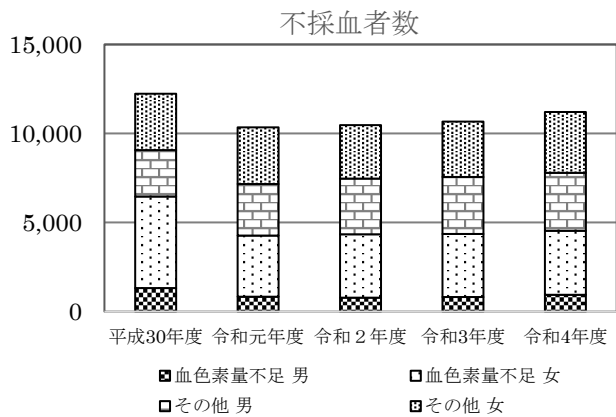
不採血率は10.9%で、不採血者数の62.6%が女性であった。

(人)

献血種別	献血受付者数			不採血者数			不採血率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
200mL 献血	631	2,230	2,861	104	723	827	16.5%	32.4%	28.9%
400mL 献血	47,422	20,403	67,825	3,379	4,630	8,009	7.1%	22.7%	11.8%
血漿献血	11,332	7,767	19,099	119	330	449	1.1%	4.2%	2.4%
血小板献血	10,136	3,144	13,280	586	1,334	1,920	5.8%	42.4%	14.5%
合計	69,521	33,544	103,065	4,188	7,017	11,205	6.0%	20.9%	10.9%

### (2) 年度別不採血者数の推移

不採血者の中で最も割合が高いのは、女性の血色素量不足によるものである。



		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
受付者数	男	67,399	68,891	70,314	70,028	69,521	
	女	32,468	32,814	33,367	34,183	33,544	
	計	99,867	101,705	103,681	104,211	103,065	
献血者数	男	63,463	65,172	66,419	66,014	65,333	
	女	24,172	26,184	26,796	27,533	26,527	
	計	87,635	91,356	93,215	93,547	91,860	
不採血者数	血色素量不足	男	1,326	831	783	815	935
		女	5,138	3,442	3,566	3,542	3,597
		計	6,464	4,273	4,349	4,357	4,532
	その他	男	2,610	2,888	3,112	3,199	3,253
		女	3,158	3,188	3,005	3,108	3,420
		計	5,768	6,076	6,117	6,307	6,673
合計	男	3,936	3,719	3,895	4,014	4,188	
	女	8,296	6,630	6,571	6,650	7,017	
	計	12,232	10,349	10,466	10,664	11,205	
不採血率(%)	血色素量不足	男	1.97	1.21	1.11	1.16	1.34
		女	15.82	10.49	10.69	10.36	10.72
		計	6.47	4.20	4.19	4.18	4.40
	その他	男	3.87	4.19	4.43	4.57	4.68
		女	9.73	9.72	9.01	9.09	10.20
		計	5.78	5.97	5.90	6.05	6.47
	合計	男	5.84	5.40	5.54	5.73	6.02
		女	25.55	20.20	19.69	19.45	20.92
		計	12.25	10.18	10.09	10.23	10.87

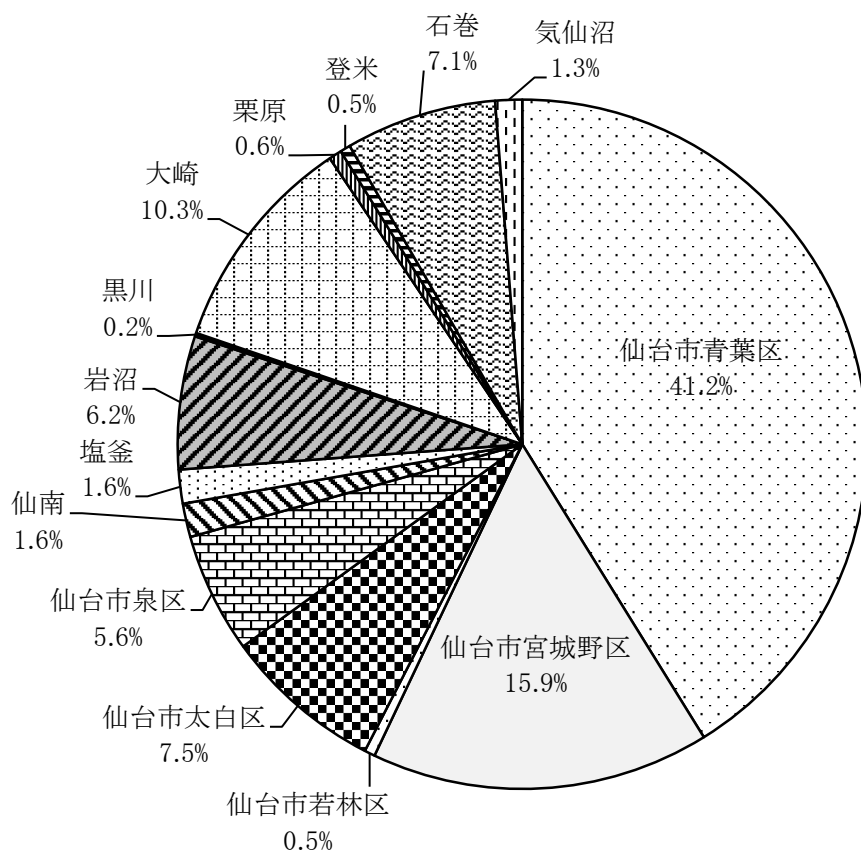
※その他は、血圧、服薬、既往歴及び海外渡航歴等による。

## II 令和4年度宮城県の血液製剤供給の概要

### 1. 令和4年度供給状況

#### (1) 保健所別供給状況

保健所別の供給率は、青葉支所が最も多く41.2%、次いで宮城野支所が15.9%であった。



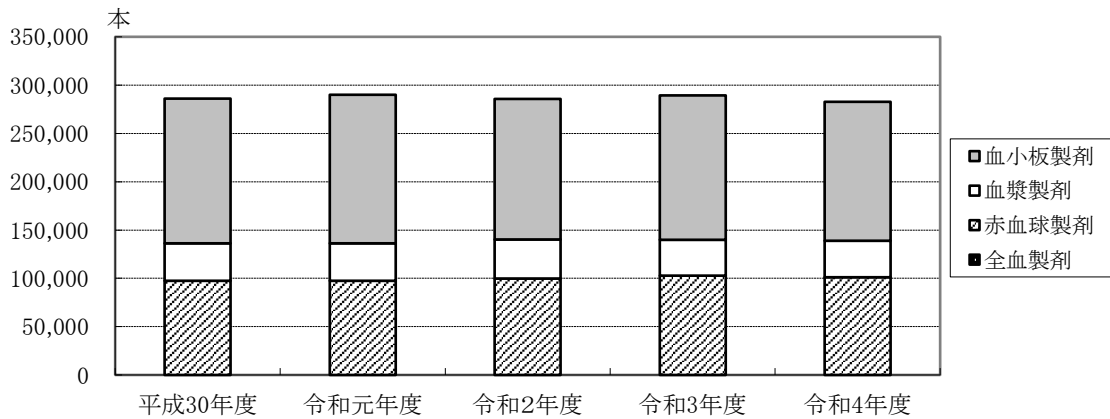
(本)

保健所名	全血製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計	供給比率
青葉	0	31,670	20,982	63,720	116,372	41.2%
宮城野	0	15,421	3,636	25,855	44,912	15.9%
若林	0	408	546	450	1,404	0.5%
太白	0	8,140	2,570	10,412	21,122	7.5%
泉	0	8,383	2,980	4,590	15,953	5.6%
仙台市	0	64,022	30,714	105,027	199,763	70.7%
仙南	0	3,520	360	565	4,445	1.6%
塩釜	0	3,410	181	900	4,491	1.6%
岩沼	0	4,995	450	12,200	17,645	6.2%
黒川	0	371	8	90	469	0.2%
大崎	0	9,020	3,239	16,960	29,219	10.3%
栗原	0	1,370	89	235	1,694	0.6%
登米	0	1,153	10	200	1,363	0.5%
石巻	0	10,917	2,328	6,790	20,035	7.1%
気仙沼	0	2,414	186	960	3,560	1.3%
合計	0	101,192	37,565	143,927	282,684	100%

※200mLを1本として換算。

(2) 年度別県内供給状況の推移

令和4年度の総供給数は 282,684 本であり、前年度より 6,728 本減少した。



(本)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
全血製剤	0	0	0	0	0
赤血球製剤	97,496	97,500	99,800	102,790	101,192
血漿製剤	38,832	38,923	40,482	36,986	37,565
血小板製剤	149,788	153,536	145,290	149,636	143,927
合計	286,116	289,959	285,572	289,412	282,684

※200mLを1本として換算。

(3) 年度別・保健所別供給状況

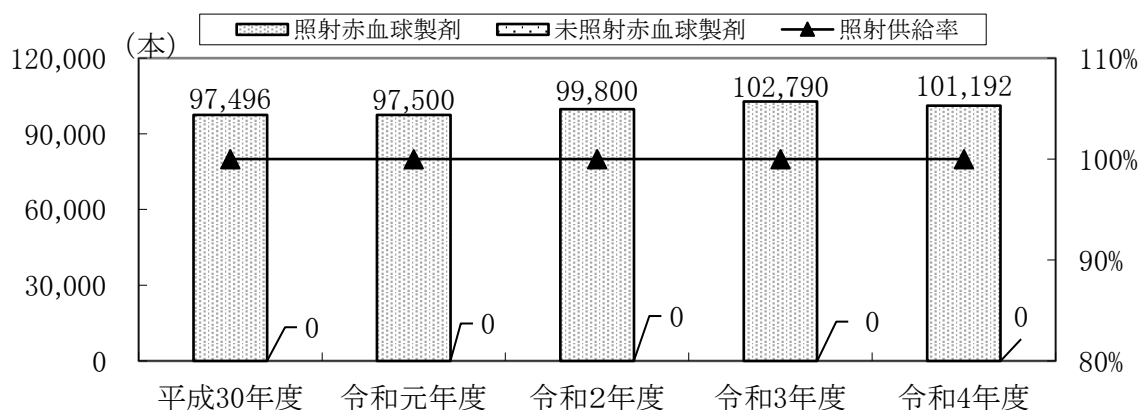
(本)

保健所名	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
青葉	104,167	109,328	112,524	115,988	116,372
宮城野	64,620	57,117	49,320	47,864	44,912
若林	3,118	753	646	1,006	1,404
太白	19,287	22,228	21,804	23,204	21,122
泉	10,872	8,140	8,756	11,714	15,953
仙台市	202,064	197,566	193,050	199,776	199,763
仙南	5,386	4,785	5,378	4,824	4,445
塩釜	7,373	7,134	6,704	6,027	4,491
岩沼	17,983	25,725	25,411	20,270	17,645
黒川	885	653	693	1,103	469
大崎	23,788	25,271	23,034	28,926	29,219
栗原	1,882	1,920	2,006	2,101	1,694
登米	1,009	1,015	1,136	1,325	1,363
石巻	21,440	22,237	24,577	21,130	20,035
気仙沼	4,306	3,653	3,583	3,930	3,560
合計	286,116	289,959	285,572	289,412	282,684

※200mLを1本として換算。

#### (4) 年度別照射血液製剤供給状況の推移(赤血球製剤)

※放射線照射：重篤な副作用である輸血後GVHD（移植片対宿主病）を予防するため、医療機関の需要に合わせて放射線照射を実施。



	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
未照射赤血球製剤	0	0	0	0	0
照射赤血球製剤	97,496	97,500	99,800	102,790	101,192
照射供給率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※200mLを1本として換算。

#### (5) 月別輸血用血液供給状況

		(単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	単位換算 (本)
赤血球製剤	照射赤血球液-LR1	1単位	105	103	120	124	139	135	164	135	137	139	72	91	1,464	1,464
	照射赤血球液-LR2	2単位	4,175	4,380	4,029	3,828	3,990	4,162	4,362	3,968	4,246	4,405	3,919	4,314	49,778	99,556
	照射洗浄赤血球液-LR2	2単位	4	6	6	5	9	16	9	12	6	5	3	5	86	172
	小計		4,284	4,489	4,155	3,957	4,138	4,313	4,535	4,115	4,389	4,549	3,994	4,410	51,328	101,192
血漿製剤	新鮮凍結血漿-LR120	1単位	53	68	57	28	34	53	47	40	64	34	35	36	549	549
	新鮮凍結血漿-LR240	2単位	946	1,154	951	976	986	956	999	893	1,023	1,126	990	844	11,844	23,688
	新鮮凍結血漿-LR480	4単位	218	226	365	291	264	346	156	296	127	431	249	363	3,332	13,328
	小計		1,217	1,448	1,373	1,295	1,284	1,355	1,202	1,229	1,214	1,591	1,274	1,243	15,725	37,565
血小板製剤	照射濃厚血小板-LR1	1単位	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2
	照射濃厚血小板-LR5	5単位	51	52	44	55	49	58	40	42	44	33	32	35	535	2,675
	照射濃厚血小板-LR10	10単位	1,006	1,220	1,061	1,001	996	1,135	1,027	964	1,122	1,053	994	1,057	12,636	126,360
	照射濃厚血小板-LR15	15単位	19	35	29	30	15	17	14	23	24	21	24	19	270	4,050
	照射濃厚血小板-LR20	20単位	6	6	12	8	11	8	12	4	17	6	8	4	102	2,040
	照射濃厚血小板 HLA-LR10	10単位	27	27	38	38	33	28	48	45	49	37	36	28	434	4,340
	照射洗浄血小板-LR	10単位	53	38	64	71	29	12	24	37	34	27	28	29	446	4,460
	小計		1,162	1,378	1,248	1,203	1,133	1,258	1,167	1,115	1,290	1,177	1,122	1,172	14,425	143,927
総合計		6,663	7,315	6,776	6,455	6,555	6,926	6,904	6,459	6,893	7,317	6,390	6,825	81,478	282,684	

※人全血液-LR1、人全血液-LR2、照射人全血液-LR1、照射人全血液-LR2、赤血球液-LR1、赤血球液-LR2、洗浄赤血球液-LR1、洗浄赤血球液-LR2、照射洗浄赤血球液-LR1、解凍赤血球液-LR1、解凍赤血球液-LR2、照射解凍赤血球液-LR1、照射解凍赤血球液-LR2、合成血液-LR1、合成血液-LR2、照射合成血液-LR1、照射合成血液-LR2、照射濃厚血小板-LR2、濃厚血小板-LR1、照射濃厚血小板 HLA-LR15、濃厚血小板-LR2、濃厚血小板-LR5、濃厚血小板-LR10、濃厚血小板-LR15、濃厚血小板-LR20、照射濃厚血小板 HLA-LR20、濃厚血小板 HLA-LR10、濃厚血小板 HLA-LR15、照射洗浄血小板 HLA-LR、濃厚血小板 HLA-LR20 については、供給がなかったため、記載していないこと。

## Ⅲ 令和4年度宮城県の献血推進事業の概要

### 1. 献血の推進体制

昭和39年の閣議決定以降、順調に進展してきた献血は、県民、地域、事業所、学校などの協力によって成り立っているが、医療機関の需要に合わせて輸血用血液を安定的に確保することは容易ではなく、地域・事業所・行政組織等の協力体制が必要である。

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」では、地方公共団体は基本理念にのっとり献血について住民の理解を深めるとともに、採血事業者による献血の受入れが円滑に実施されるよう、必要な措置を講じなければならないとしている。

そのため、県では、適切な献血制度の運営を確保するため、献血推進計画の作成、宮城県献血推進協議会の開催、県民を対象とした献血広報活動を実施しているほか、献血推進事業に携わる市町村の献血担当者を対象とした研修会の開催や、宮城県赤十字血液センターによる事業所の献血担当者を対象とした献血セミナーについて周知している。

また、市町村においては、地域住民への献血思想の普及を図るため、各市町村献血推進協議会の開催、各事業所・各種団体・高等学校などに対する献血協力依頼や広報誌などによる献血の呼びかけを行うとともに、県及び宮城県赤十字血液センターと連携して献血実施日程の調整などを行っている。

その結果、婦人会・青年団・学生会・ライオンズクラブ・ボランティア団体などの地域団体や、事業所、高等学校などの理解のもとに、宮城県赤十字血液センターの各施設において献血の協力を得ているところである。

### 宮城県献血推進協議会

宮城県献血推進協議会(構成人員18人)は、昭和39年11月に設置された。毎年定期的に献血推進協議会を、不定期に献血推進協議会企画広報委員会を開催し、必要献血数の策定、今後の献血推進活動の方針、献血思想の普及などについて検討を行っている。

#### 宮城県献血推進協議会

開催月日	令和5年2月7日(火)
場所	宮城県行政庁舎 第二会議室(オンライン併用)
議事	議事録署名委員の選出 令和3年度献血実績及び献血推進実績について 令和4年度献血実施状況及び献血推進状況について 令和5年度献血推進計画(案)について その他

### 2. 血液製剤の使用適正化対策

近年、血液製剤の安全性は格段に向上してきたが、免疫性、感染性などの副作用や合併症が生じる危険性がいまだにある。また、血液製剤は、有限で貴重な資源である血液から造られていることから、その取扱いには倫理的観点からの配慮が必要であり、より適正な使用を推進する必要がある。

厚生労働省では、「血液製剤の使用指針」、「輸血療法の実施に関する指針」(平成11年6月10日付け医薬発第715号厚生省医薬安全局長通知)及び「血小板製剤の使用適正化の推進について」(平成6年7月11日付け薬発第638号厚生省薬務局長通知)により、輸血療法の適正化及び血液製剤の使用適正化を推進してきたところであるが、制定後の輸血療法の進歩を踏まえて再検討を行い、最新の知見を加えて、平成17年9月に、これらの指針が改定された。

県では、これらの指針の周知徹底を図るため、例年、血液製剤を使用する病院などを対象とした説明会や、宮城臨床輸血研究会と協力して講演会などを共催している。さらに一層の輸血用血液の有効利用を図るために、平成19年3月に宮城県合同輸血療法委員会を設置し、輸血療法にかかる検討を実施している。

## 令和4年度講演会・説明会実施状況

### (1)宮城臨床輸血研究会

#### 第47回宮城臨床輸血研究会

開催月日 令和4年7月16日(土)

開催方法 オンライン配信

主催 宮城臨床輸血研究会、一般社団法人日本血液製剤機構

主 題 「遠心型血液成分分離装置の活用」

#### I. 一般演題

1. 「著名な血小板増多に対して血小板アフェレーシスを施行した慢性骨髄性白血病の1例」
2. 「細胞アフェレーシス採取における貧血改善の重要性」
3. 「当院における小児患者の細胞採取」

#### II. 特別講演

「小児における遠心型血液成分分離装置を用いた末梢血幹細胞採取と血漿交換療法の経験」

長野県立こども病院 小児集中治療科 医長 大森 教雄 先生

### (2)血液製剤使用適正化説明会

開催月日 令和5年1月27日(金)

開催方法 オンライン配信

主催 宮城県、宮城県合同輸血療法委員会

調査結果等

1. 宮城県内の献血普及推進に係る取組み  
宮城県保健福祉部薬務課 担当者
2. 「輸血療法に関する周知度調査」及び「輸血に関するアンケート調査」  
について

東北大学病院 輸血・細胞治療部 副部長 藤原 実名美 先生

#### ◆特別講演

「血液事業のこれまでとこれから」

日本赤十字社東北ブロック血液センター 所長 柴崎 至 先生

### (3)宮城県合同輸血療法委員会

#### イ 令和4年度宮城県合同輸血療法委員会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催を中止した。

#### ロ 看護師のための輸血研修会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催を中止した。

### 3. イベント

#### 「めぐる献血 PROJECT」キャンペーンの実施（日本赤十字社主催）

各血液センター、献血ルーム及び献血バスと連携・連動し、若年層（10代～30代）の献血者を増加させるとともに、医療需要に応じた献血血液の安定確保及び献血Web会員サービス「ラブラット」を活用した事前予約の強化を図ることを目的に「今田 美桜さんと高杉 真宙さん」をイメージキャラクターに起用し、1年間にわたり実施した。

各キャンペーン実施内容

- ① 第一弾（9月7日～10月31日）「今田美桜または高杉真宙」オリジナルクリアファイルを配付  
期間中に協力いただいた10代から30代の「ラブラット会員」で希望する方
- ② 第二弾（10月1日～11月30日）「すみっコぐらし」オリジナルぬりえ冊子&フレークシールを配布  
期間中に協力いただいたラブラッド会員で希望する方
- ③ 第三弾（3月1日～4月30日）「東京リベンジャーズ」オリジナルクリアファイルを配布  
期間中に協力いただいたラブラッド会員で希望する方



## 4. 令和4年度表彰

(順不同 敬称略)

### (1) 厚生労働大臣表彰

#### イ 厚生労働大臣表彰状

該当なし

#### ロ 厚生労働大臣感謝状

宮城県立白石高等技術専門校（白石市）  
東北三和鋼器株式会社（柴田町）  
古川農業協同組合（大崎市）  
宮城県警察機動警ら隊（利府町）

### (2) 宮城県知事表彰

#### イ 宮城県知事褒状

セイコーインスツル株式会社仙台事業所（仙台市青葉区）  
株式会社丹勝（仙台市宮城野区）  
公益社団法人宮城県トラック協会塩釜支部（塩竈市）  
宮城県松山高等学校（大崎市）  
SBS三愛ロジスティクス株式会社東北営業所（柴田町）

#### ロ 宮城県知事感謝状(令和3年度に献血回数が200回に達した方に対して贈呈したもの。)

38名の方が表彰されました。

### (3) 日本赤十字社表彰

#### 献血団体(14 団体)

#### イ 銀色有功章(銀色銅板) 15 年以上

伊藤ハム米久プラント株式会社東北工場（栗原市）  
株式会社登米村田製作所（登米市）  
THKインテックス株式会社仙台工場（大衡村）  
積水ハウス株式会社（色麻町）

#### ロ 支部長感謝状(金枠) 10 年以上

株式会社宮城衛生環境公社（仙台市青葉区）  
アルプスアルパイン株式会社涌谷工場（涌谷町）  
一般財団法人広南会広南病院（仙台市太白区）  
巧成建設株式会社（仙台市泉区）  
産電工業株式会社（仙台市若林区）  
株式会社 TTK 中倉ビル（仙台市若林区）

#### ハ 支部長感謝状(銀枠) 5 年以上

日本板硝子東北株式会社（大郷町）  
プライムアース EV エナジー株式会社宮城工場（大和町）  
株式会社シバタインテック（仙台市若林区）  
東北藤吉工業株式会社（仙台市若林区）

## 5. その他献血関連事業

[県]

### ○市町村献血推進事業補助(市町村振興総合補助金)

献血者確保は、市町村における重要な役割であるとともに、住民と直結している市町村の積極的な推進がなければ、安定的な献血を得ることができない。そのため、市町村が行う献血組織の育成強化及び献血思想の普及事業に要する経費に対して補助を行った。

なお、本事業は平成17年度から市町村振興総合補助金として交付されている。

[血液センター]

#### (1) 若年者献血セミナー事業

血液センター施設及び地域の施設等を利用して、若年者向けのセミナーを開催することで、献血への理解を深め、より多くの若年者の献血意識の向上を図ることを目的として実施している。

#### (2) 献血協賛企業活動推進事業

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴としてのロゴマークを付与することで、献血に積極的に協力する企業・団体が行う献血活動を広く一般社会に認知させることと、企業・団体が行う献血活動の普及・拡大を図ることを目的としている (<http://www.ken-sapo.jp/>)。

#### (3) 献血Web会員サービス「ラブラッド」

ラブラッドは、安全な献血者を安定的に確保する事を目的として運営しており、年間複数回、400mL献血・成分献血にご協力頂ける方を募集している。会員には血液センターから『献血のお願い』や『献血キャンペーン情報』、献血に関する依頼等のメールが届くほか、会員特典として会員サイトでポイント制度の利用や血液検査の結果を確認することができる。

また、令和4年9月からラブラッドアプリをリリースし、「アプリ版献血カード」や「事前Web問診回答機能」の導入、「プレ会員」の登録等を開始した。

#### (4) 自己血輸血技術協力

放射線照射済血液製剤の製造・供給開始に伴い、GVHD（移植片対宿主病）は減少し、2000年以降放射線照射済輸血用血液製剤による確定症例は報告されていないが、一方で、輸血に伴う様々な副作用は防ぎきることは未だ困難である。例えば、同種免疫、ウインドウ・ペリオド（感染後で抗原・抗体出現前）期間中の献血等による感染副作用が報告されており、この対応として自己血輸血が有効な手段とされている。そこで、献血の基本理念と異なるものの、血液センターが有する知識や技術、経験等を医療に活用し、採血に関する技術指導体制と、分離調製・保管等の協力を行っている。

#### (5) 骨髄バンク事業

骨髄バンク事業として、地方自治体や公益財団法人日本骨髄バンク等が行う骨髄移植の説明を受けた登録希望者の受け入れをおこなっている。令和5年3月末の時点での県内の実登録者総数は19,084人（二次検査済み）となっており、献血会場や県内各保健所で受付している。

## 6. 令和4年度広報資料等の作成配布

種 類	タイトル	制作(施行)元	数 量	主な配布先・場所等
新聞	赤十字新聞(年12回発行)	日本赤十字社	3,600	献血団体、献血者等
広報紙	日赤みやぎ(年3回発行)	日赤宮城県支部	6,000	献血団体、献血者等
リーフレット	「はじめよう！つづけよう！献血」	県	77,000	県内高等学校、市町村、保健所、成人式等
「愛の血液助け合い運動」月間(令和4年7月1日～31日)				
ポスター	「愛の血液助け合い運動」	日本赤十字社	200	県保健所、市町村、大学、専修学校等
ポスター	「愛の血液助け合い運動」	厚生労働省	1,820	大学、高等学校、県薬剤師会、市町村等
ラジオCM放送	「愛の血液助け合い運動」月間のお知らせ	血液センター	2	DateFM、TBC ラジオ
県薬ニュース	「愛の血液助け合い運動」月間のお知らせ	県	1,050	県薬剤師会員
「はたちの献血」キャンペーン(令和5年1月1日～2月28日)				
ポスター	「はたちの献血」	日本赤十字社	300	県保健所、市町村、大学、専修学校等
ポスター	「はたちの献血」	厚生労働省	1,823	大学、高等学校、県薬剤師会、市町村等
県薬ニュース	「はたちの献血」月間のお知らせ	県	1,050	県薬剤師会員
その他通年広報活動等				
ポスター	「めぐる献血 PROJECT」	日本赤十字社	760	県保健所、市町村、大学、専修学校等
ポスター	「献血に行こう！！」(楽天イーグルス)	血液センター、県	800	県保健所、市町村、大学、専修学校等
ポスター	「ベガルタ仙台 Go！行くぞ献血！」	県	1,000	県保健所、市町村、大学、専修学校等
ラジオCM(4月～3月)	RAD～Radio All Day～(番組名)	血液センター	1	DateFM
街頭ビジョン広告	献血推進動画等	日本赤十字社	2	AERビル、INDEXビル
ラジオCM放送(県政ラジオ)	献血推進啓発広告	県	2	DateFM、TBC ラジオ
楽天生命パーク宮城「宮城コマースシャルタイム」	献血アニメむすび丸CM『献血で恩返し篇』	県	10	楽天生命パーク宮城来場者
YouTube インストリーム広告表示	ベガルタ仙台の選手及びチアリーダーを起用した献血普及推進動画『Go！行くぞ献血！』	県	(表示回数) 1,204,554回	YouTube 動画視聴者

## 7. 令和4年度献血推進行事開催状況

日時	行事名	行事内容	場所	主催
4月22日	令和4年度富谷市献血推進委員協議会総会	令和3年度の献血事業の実績報告、収支決算及び令和4年度の事業計画案と収支予算案等を報告	富谷市役所	富谷市献血推進委員協議会
5月18日	松島町献血推進協議会定例会議	令和3年度の事業報告と収支決算報告を実施し、令和4年度事業計画案と収支予算案について審議した。(書面会議で実施)	書面審議	松島町献血推進協議会
6月3日	令和4年度名取市献血推進協議会総会	令和3年度事業報告及び収支決算について令和4年度事業計画案と収支予算案の承認	名取市役所	名取市献血推進協議会
7月1日から 7月31日	「愛の血液助け合い運動」月間	広報	県内一円	宮城県、市町村、宮城県献血推進協議会、日本赤十字社宮城県支部、宮城県赤十字血液センター
7月11日	小学生向け献血啓発	各市立小学校4年生を対象に仙台市保健所作成リーフレット「けつえきのおはなし」を送付	仙台市立小学校	仙台市保健所
8月7日	「愛の血液助け合い運動」献血キャンペーン	気仙沼市献血推進協議会委員及び高校生ボランティアの協力のもと、店頭での啓発用資材の配布、献血協力者へのアンケートを実施	イオンリテール(株) イオン気仙沼店	気仙沼市献血推進協議会
9月1日～ 3月31日	令和4年度「名取市献血推進協議会 × Vtuber 名取さな」	Vtuber 名取さなを起用して若年層への献血推進啓発活動(ポスター掲示、ステッカー配布)	名取市内	名取市献血推進協議会
9月4日	救急フェア2022	献血への協力の理解促進として、啓発用資材(ちらし、絆創膏、ポケットティッシュ)や献血協力者へ記念品を配布	イオンリテール(株) イオン気仙沼店	気仙沼市、 地域医療委員会
9月21日	令和4年度第1回丸森町健康づくり推進協議会	令和3年度献血事業実績報告及び令和4年度献血事業計画の提議・承認	丸森町保健センター	丸森町役場保健福祉課
10月15日 10月16日	東北工業大学学園祭における献血啓発活動	献血啓発ポスターの掲示、パンフレット・啓発物品の配布	東北工業大学	東北工業大学、 仙台市保健所太白支部
10月25日	令和4年度富谷市献血推進委員協議会定例会	富谷市献血推進委員に献血事業の実施状況等を報告 宮城県赤十字血液センター職員より、献血の現状等について説明を受ける	富谷市役所	富谷市役所 健康推進課
12月6日	女川町優良献血協力者表彰	対象者へ個別通知、感謝状及び記念品の贈呈	女川町役場	女川町
12月	全国学生クリスマス献血キャンペーン2022	血液センターと連携し、ハートラちゃん等を用いて献血のPRを実施した。献血協力者へケーキを提供した。	イオンモール富谷11日 イオンタウン古川18日 イオンモール石巻24日 イオンモール名取25日	宮城県青年赤十字奉仕 団連絡協議会
1月1日から 2月28日	「はたちの献血」キャンペーン	広報 各市町村で開催される二十歳を祝う式典等にて献血普及推進資材の配布	県内一円	宮城県、市町村、日本赤十字社宮城県支部、宮城県赤十字血液センター
2月21日	令和4年度第2回丸森町健康づくり推進協議会	令和4年度献血事業実施状況報告及び令和5年度献血事業計画の提議・承認	丸森町保健センター	丸森町役場保健福祉課

## 8. 学校・企業等への訪問について

### 【 目 的 】

高校、大学等の学校や企業等へ訪問し、職員の献血に係る理解を深め、献血セミナーや献血バスの受入れを増やすことで、若い世代が献血と触れ合う“きっかけ”を作ること。

### 【対象施設】

県内の学校・企業 20施設

### 【実施結果】

コロナ禍のため、6施設にのみ訪問し、そのたの学校等には資料送付による情報提供を行った。職員から献血セミナーや献血バス受入れに向けた質問が寄せられたほか、実際に、1施設から献血バスの受入について協力が得られたため、本事業について一定の効果が得られたものと考えられる。

## 9. 市町村による献血推進取組み事例の紹介

### 名取さな×名取市献血推進協議会

#### 【 概 要 】

名取市が、市と同じ苗字を持つVTuber\*の新人ナースである「名取さな」を起用して、献血の普及を推進した取組み。当該VTuberは動画投稿サイトのチャンネル登録者数が30万人を超える人気があり、イベント開催時の献血会場には遠方からファンが駆けつけた。また、本取組みは日本国内のみならず、海外のメディアでも取り上げられるなど大きな反響を得ている。

\*VTuber：動画配信サイトに動画を投稿するユーザーの一種で、3DCGなどで作られたアニメの登場人物のような架空のキャラクターのこと。

#### 【成功の要因】

- ・ナースのキャラクターが献血のイメージに合っていること
- ・動画投稿サイトのチャンネル登録者数が30万人を超える人気Vtuberであること
- ・ファンが「名取さな」と「献血」とのコラボを期待していること
- ・SNSを通じて献血会場の情報が広範囲に拡散されたこと

#### 【実施結果】

取組みを開始した令和2年度から現在に至るまで、「名取さな」が変わらず人気であることや、毎年新たな記念品を作製、配布していることもあり、継続して協力を得られている。

通常の献血会場と比較してイベント開催時は約1.4倍の献血者数となり、若い世代を中心とする多くの方が献血について興味・関心を抱く“きっかけ”となった。

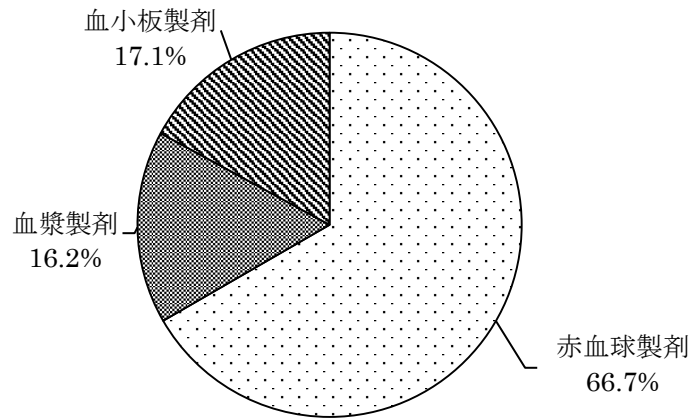


## IV 東北ブロック血液センター業務

東北6県で献血された血液は、日本赤十字社東北ブロック血液センター(仙台市泉区)に集められ、製剤、検査業務を行い、輸血用血液製剤として各県の医療需要に応じて分配している。

### 1. 令和4年度製造状況

製造状況は、赤血球製剤が66.7%、血漿製剤が16.2%、血小板製剤が17.1%であった。



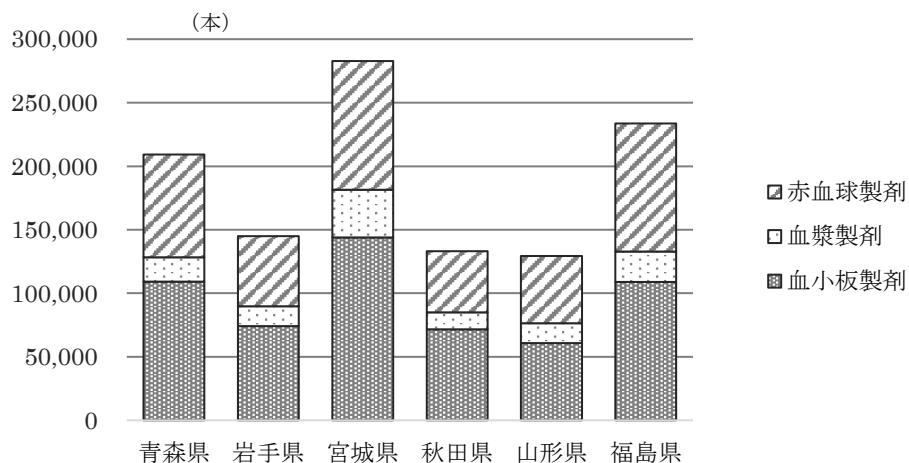
(本)

	1単位	2単位	4単位	5単位	10単位	15単位	20単位	合計
全血製剤	0	0						0
赤血球製剤	7,792	216,853						224,645
血漿製剤	1,067	45,472	8,137					54,676
血小板製剤	3	0		1,290	55,367	539	393	57,592
合計	8,862	262,325	8,137	1,290	55,367	539	393	336,913

### 2. 令和4年度供給状況

#### (1) 輸血用血液供給状況

県別の供給量は、宮城県が最も多かった。



(本)

	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	合計
全血製剤	0	0	0	0	0	0	0
赤血球製剤	80,766	55,068	101,192	48,041	52,940	100,859	438,866
血漿製剤	19,164	15,790	37,565	13,434	15,488	23,743	125,184
血小板製剤	109,170	74,080	143,927	71,685	60,820	109,015	568,697
合計	209,100	144,938	282,684	133,160	129,248	233,617	1,132,747

※200mLを1本として換算。

(2) 輸血用血液の需給調整状況

輸血用血液の他ブロックからの受入れは 3,311 本であり、他ブロックへの払出しは 5,146 本であった。

製剤種別	規格	需給調整数(本)		換算単位数(換算単位)	
		他ブロックからの受入れ	他ブロックへの払出し	他ブロックからの受入れ	他ブロックへの払出し
赤血球製剤	1 単位	10	191	2,804	5,607
	2 単位	1,397	2,708		
血漿製剤	1 単位	21	443	3,589	2,631
	2 単位	174	714		
	4 単位	805	190		
血小板製剤	1 単位	0	0	9,125	9,005
	2 単位	0	0		
	5 単位	0	0		
	10 単位	892	899		
	15 単位	7	1		
	20 単位	5	0		
総計		3,311	5,146	15,518	17,243

3. 令和4年度原料血漿確保状況

(1) 原料血漿確保状況

原料血漿確保目標量83,867Lに対し確保量は86,523Lとなり、目標達成率は103.2%であった。

(L)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
原料血漿確保目標量														83,867
確保量	凝固因子製剤用	331	378	383	358	279	406	364	349	410	326	381	480	4,445
	アルブミン・グロブミン用	5,794	6,964	7,578	6,214	7,605	6,404	7,321	7,010	6,839	6,594	6,516	7,239	82,078
小計		6,125	7,342	7,961	6,572	7,884	6,810	7,685	7,359	7,249	6,920	6,897	7,719	86,523
達成率														103.2
HBIG用※		24	17	12	12	12	11	12	7	28	22	0	43	200
合計		6,149	7,359	7,973	6,584	7,896	6,821	7,697	7,366	7,277	6,942	6,897	7,762	86,723

※HBs抗体価が2以上の血漿の送付量。

(2) 年度別原料血漿確保量の推移

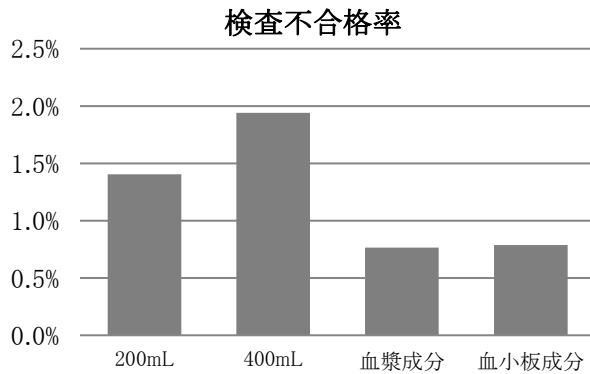
(L)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
確保目標量	71,451	77,911	83,464	83,790	83,867
確保量	70,354	81,516	89,629	88,036	86,523
達成率	99.9%	104.6%	107.4%	105.1%	103.2%

#### 4. 令和4年度検査状況

##### (1) 献血種類別検査不合格状況

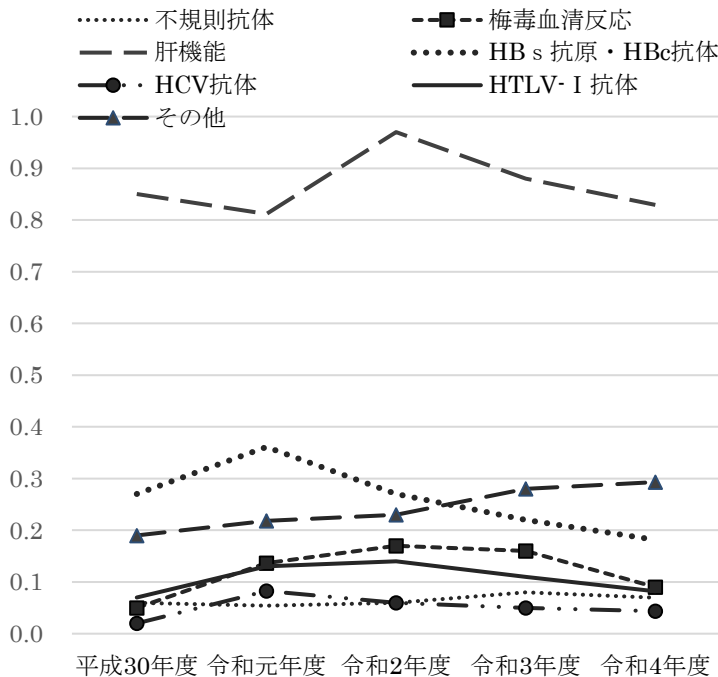
検査不合格の占める割合は1.6%であった。



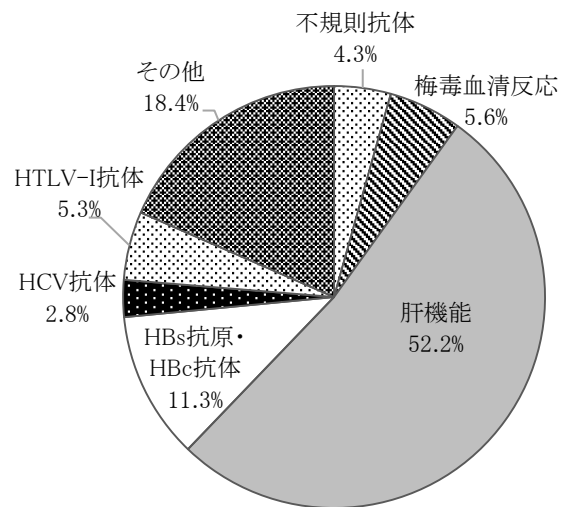
献血種別	検査数	不合格数	不合格率
200mL 献血	7,978	113	1.4
400mL 献血	223,846	4,322	1.9
血漿献血	69,283	535	0.8
血小板献血	37,280	288	0.8
合計	338,387	5,258	1.6

##### (2) 年度別・検査項目別検査不合格数の推移

令和4年度の検査不合格の主な理由は、肝機能が52.2%で、次いでHBc抗原・抗体が11.3%であった。平成28年度から肝機能値による検査不合格基準が見直され、肝機能の不合格率が減少した。



令和4年度検査不合格理由構成比



不合格数:件, 不合格率:%, 構成比:%

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		構成比
	不合格数	不合格率	不合格数	不合格率	不合格数	不合格率	不合格数	不合格率	不合格数	不合格率	
不規則抗体	199	0.06	183	0.05	195	0.06	262	0.08	232	0.07	4.3
梅毒血清反応	148	0.05	462	0.14	599	0.17	551	0.16	300	0.09	5.6
肝機能	2,751	0.85	2,743	0.81	3,361	0.97	3,013	0.88	2,792	0.83	52.2
HBs 抗原・HBc 抗体	883	0.27	1,220	0.36	928	0.27	757	0.22	604	0.18	11.3
HCV 抗体	65	0.02	279	0.08	201	0.06	184	0.05	151	0.04	2.8
HTLV-I 抗体	221	0.07	440	0.13	494	0.14	365	0.11	281	0.08	5.3
その他	621	0.19	738	0.22	790	0.23	949	0.28	986	0.29	18.4
合計	4,888	1.51	6,065	1.79	6,568	1.90	6,081	1.78	5,346	1.59	100

※この表は、一検体で複数の不合格理由が発生した数を含む合計であるため、上記(1)の不合格数より多くなる場合がある。

※「構成比」は端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない。



## V 参考資料

### 1. 広域事業運営について

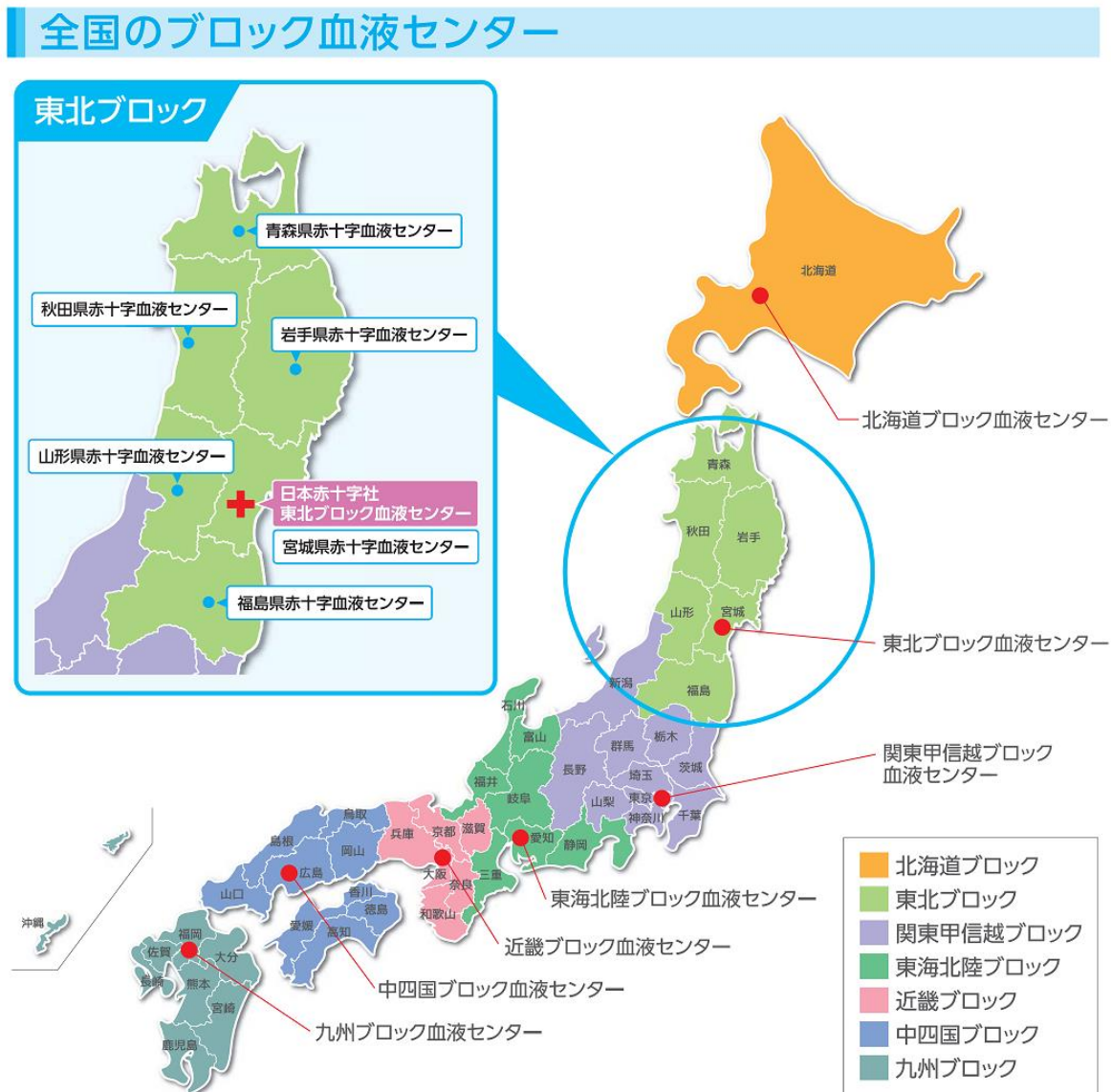
日本赤十字社は、安全な輸血用血液製剤を安定的に供給し、輸血を必要とする方がいつ、どこにいても安心して輸血を受けられるように、全国を7つのブロック(北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国、九州)に分けて、ブロック内の血液の需給バランスの調整を図る広域事業運営を行っている。

宮城県赤十字血液センターは、過疎化、少子高齢化が進む東北6県をエリアとする東北ブロックに属し、ブロックの中でも人口が最も多く若年層の割合が高いことから、献血者確保の中心的な役割を果たしている。

東北6県で献血いただいた血液は、全て日本赤十字社東北ブロック血液センターで検査及び製造され、各県で必要な血液製剤に応じた調整(需給管理)が行われている。

なお、当センターでは、「献血者の受入」と「医療機関への供給」の役割を担っている。

今後も、国の掲げる基本方針に基づき、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保とともに、事業の最大限の効率化及び合理化を図り、適正かつ安定的な事業運営に努めていく。



## 2. 令和4年度都道府県別献血状況

献血率全国平均は3.97%であり、宮城県献血率は3.99%であった。献血率順位は、令和3年度は20位、令和4年度は23位であった。

都道府県	献血量 L	献血者数		200mL			400mL			成分			総人口 人	献血率	
		人	前年比 %	人	構成比	前年比 %	人	構成比	前年比 %	人	構成比	前年比 %		人	%
北海道	107,900.9	255,029	98.3	9,659	3.8	100.0	189,746	74.4	98.3	55,624	21.8	98.1	5,228,885	4.88	1
青森県	21,016.5	47,127	98.9	1,312	2.8	94.9	32,101	68.1	100.8	13,714	29.1	95.1	1,238,730	3.80	32
岩手県	19,114.2	43,104	96.9	1,267	2.9	91.5	29,318	68.0	98.8	12,519	29.0	93.3	1,211,206	3.56	43
宮城県	40,870.4	91,860	98.2	2,034	2.2	88.3	59,816	65.1	101.2	30,010	32.7	93.3	2,303,487	3.99	23
秋田県	17,976.3	38,401	95.7	745	1.9	91.3	24,091	62.7	96.8	13,565	35.3	93.9	960,113	4.00	22
山形県	18,828.1	42,072	100.2	985	2.3	102.8	27,779	66.0	100.5	13,308	31.6	99.3	1,068,696	3.94	28
福島県	34,130.6	75,823	99.4	1,635	2.2	97.9	50,741	66.9	99.9	23,447	30.9	98.5	1,834,198	4.13	18
茨城県	45,862.2	104,296	98.8	3,701	3.5	120.1	71,062	68.1	100.6	29,533	28.3	92.6	2,868,554	3.64	39
栃木県	41,183.9	93,925	96.9	6,724	7.2	85.4	57,662	61.4	99.5	29,539	31.4	94.8	1,934,016	4.86	2
群馬県	40,417.7	90,760	97.4	3,643	4.0	97.2	56,619	62.4	99.6	30,498	33.6	93.6	1,940,333	4.68	3
埼玉県	104,164.9	239,357	99.3	11,053	4.6	98.7	162,674	68.0	101.3	65,630	27.4	94.9	7,346,836	3.26	46
千葉県	102,929.4	232,260	100.8	5,974	2.6	104.9	152,416	65.6	101.0	73,870	31.8	99.9	6,287,034	3.69	37
東京都	252,022.7	565,405	99.5	17,201	3.0	106.1	352,120	62.3	101.6	196,084	34.7	95.4	14,064,696	4.02	20
神奈川県	147,703.1	329,814	101.4	10,253	3.1	104.7	204,129	61.9	100.7	115,432	35.0	102.3	9,240,411	3.57	42
新潟県	42,115.1	91,995	98.0	1,785	1.9	95.0	56,113	61.0	102.1	34,097	37.1	92.1	2,202,358	4.18	12
山梨県	16,673.5	36,710	95.7	746	2.0	68.3	23,264	63.4	98.6	12,700	34.6	92.9	810,427	4.53	5
長野県	33,498.5	74,535	95.3	760	1.0	82.0	48,208	64.7	100.2	25,567	34.3	87.7	2,049,683	3.64	38
富山県	16,066.9	36,231	96.9	1,077	3.0	87.6	25,035	69.1	102.0	10,119	27.9	87.1	1,035,612	3.50	44
石川県	20,377.6	44,620	100.1	1,409	3.2	104.8	26,716	59.9	100.1	16,495	37.0	99.8	1,133,294	3.94	27
福井県	12,777.8	28,484	97.0	768	2.7	100.0	19,834	69.6	99.7	7,882	27.7	90.8	767,433	3.71	35
岐阜県	29,260.3	66,656	96.5	2,251	3.4	99.1	45,034	67.6	99.1	19,371	29.1	90.8	1,979,781	3.37	45
静岡県	58,326.1	131,274	97.6	4,915	3.7	121.2	87,393	66.6	100.7	38,966	29.7	89.2	3,635,220	3.61	41
愛知県	136,226.7	298,290	101.9	7,320	2.5	118.2	171,444	57.5	101.4	119,526	40.1	101.7	7,546,192	3.95	25
三重県	30,138.7	64,373	98.8	679	1.1	95.8	36,971	57.4	101.5	26,723	41.5	95.4	1,771,440	3.63	40
滋賀県	22,542.2	53,164	103.5	1,356	2.6	101.7	41,265	77.6	107.1	10,543	19.8	91.7	1,414,248	3.76	33
京都府	50,451.0	113,410	100.2	1,139	1.0	109.4	76,307	67.3	101.5	35,964	31.7	97.2	2,579,921	4.40	6
大阪府	171,644.2	386,871	97.4	8,622	2.2	92.1	251,766	65.1	99.0	126,483	32.7	94.9	8,842,523	4.38	7
兵庫県	94,578.6	214,880	99.2	5,404	2.5	97.9	147,160	68.5	101.5	62,316	29.0	94.3	5,469,184	3.93	29
奈良県	21,445.4	49,227	100.5	1,480	3.0	113.0	33,264	67.6	102.8	14,483	29.4	94.6	1,325,437	3.71	34
和歌山県	18,152.2	42,401	97.4	1,459	3.4	97.0	31,297	73.8	100.2	9,645	22.7	89.6	923,033	4.59	4
鳥取県	10,593.1	22,926	104.7	35	0.2	63.6	15,571	67.9	106.7	7,320	31.9	101.0	553,847	4.14	17
島根県	9,818.3	21,411	96.1	65	0.3	79.3	13,797	64.4	98.8	7,549	35.3	91.7	671,602	3.19	47
岡山県	35,765.7	79,251	99.7	698	0.9	79.6	53,866	68.0	99.5	24,687	31.2	100.7	1,889,607	4.19	10
広島県	53,988.0	117,795	96.9	1,118	0.9	76.0	73,884	62.7	98.6	42,793	36.3	94.6	2,801,388	4.20	9
山口県	22,099.2	51,415	99.2	388	0.8	74.2	41,586	80.9	100.5	9,441	18.4	95.1	1,342,987	3.83	31
徳島県	12,468.7	27,726	97.1	92	0.3	96.8	19,319	69.7	97.7	8,315	30.0	95.6	719,704	3.85	30
香川県	16,923.6	37,656	99.6	95	0.3	96.0	27,543	73.1	101.4	10,018	26.6	95.2	951,049	3.96	24
愛媛県	24,304.4	53,641	101.6	98	0.2	60.5	35,847	66.8	99.3	17,696	33.0	107.1	1,335,694	4.02	21
高知県	13,061.5	28,897	101.0	280	1.0	66.5	19,651	68.0	102.6	8,966	31.0	99.1	692,065	4.18	13
福岡県	97,900.5	217,493	101.5	568	0.3	245.9	152,530	70.1	102.8	64,395	29.6	98.1	5,138,891	4.23	8
佐賀県	15,868.8	33,786	96.5	496	1.5	69.4	18,983	56.2	100.5	14,307	42.3	92.8	812,013	4.16	14
長崎県	24,359.8	54,373	99.4	873	1.6	86.2	37,518	69.0	100.4	15,982	29.4	97.9	1,313,103	4.14	16
熊本県	32,949.8	72,749	96.9	851	1.2	67.4	50,717	69.7	97.5	21,181	29.1	97.2	1,739,211	4.18	11
大分県	20,713.3	46,659	96.3	308	0.7	102.7	34,303	73.5	96.6	12,048	25.8	95.2	1,124,597	4.15	15
宮崎県	19,124.5	42,258	97.5	129	0.3	105.7	29,188	69.1	98.3	12,941	30.6	95.8	1,070,213	3.95	26
鹿児島県	28,831.1	63,981	99.1	242	0.4	135.2	46,785	73.1	100.9	16,954	26.5	94.1	1,589,206	4.03	19
沖縄県	24,458.8	54,370	99.2	293	0.5	85.9	38,268	70.4	101.7	15,809	29.1	94.0	1,468,410	3.70	36
全国合計	2,231,624.5	5,008,741	99.1	123,985	2.5	99.8	3,300,701	65.9	100.6	1,584,055	31.6	96.2	126,226,568	3.97	

3年度全国	2,245,996.4	5,053,198	100.3	124,247	2.5	100.7	3,282,124	65.0	101.1	1,646,827	32.6	98.7	126,226,568	4.00	
3年度宮城	41,929.5	93,547	100.4	2,304	2.5	121.0	59,089	63.2	101.1	32,154	34.4	97.8	2,303,487	4.06	20

※「構成比」は端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない。

※「人口」は令和2年国勢調査人口速報集計(総務省統計局/令和3年6月25日公表)による。

### 3. 令和4年度都道府県別供給状況

(本)

都道府県	全血製剤			赤血球製剤			血漿製剤				血小板製剤						換算数
	1 単位	2 単位	換算 数	1 単位	2 単位	換算数	1 単位	2 単位	4 単位	換算数	1 単位	2 単位	5 単位	10 単位	15 単位	20 単位	
北海道	0	0	0	9,237	181,597	372,431	1,232	39,010	4,426	96,956	0	0	466	18,128	8,743	10,249	519,735
青森県	0	0	0	2,040	39,363	80,766	82	6,355	1,593	19,164	0	0	150	10,286	52	239	109,170
岩手県	0	0	0	1,048	27,010	55,068	8	6,787	552	15,790	0	0	127	7,282	39	2	74,080
宮城県	0	0	0	1,464	49,864	101,192	549	11,844	3,332	37,565	2	0	535	13,516	270	102	143,927
秋田県	0	0	0	801	23,620	48,041	20	3,505	1,601	13,434	0	0	38	7,099	27	5	71,685
山形県	0	0	0	806	26,067	52,940	62	6,869	422	15,488	0	0	196	5,884	36	23	60,820
福島県	0	0	0	1,437	49,711	100,859	219	9,756	1,003	23,743	0	0	112	10,680	89	16	109,015
茨城県	0	0	0	3,009	64,853	132,715	233	10,859	2,418	31,623	0	0	23	13,711	28	528	148,205
栃木県	0	5	10	4,246	43,891	92,028	447	14,626	1,248	34,691	0	0	17	13,178	6	54	133,035
群馬県	0	0	0	2,450	50,006	102,462	74	8,139	4,225	33,252	0	0	31	15,332	15	181	157,320
埼玉県	0	0	0	8,985	160,312	329,609	951	29,783	9,107	96,945	0	0	803	33,078	2,059	518	376,040
千葉県	0	0	0	5,017	162,546	330,109	793	40,984	11,088	127,113	0	0	211	34,722	94	1,749	384,665
東京都	0	0	0	24,002	354,320	732,642	5,302	81,777	26,866	276,320	1	5	4,878	96,941	2,164	9,897	1,224,211
神奈川県	0	0	0	9,413	207,819	425,051	536	54,595	9,110	146,166	0	30	1,596	47,490	965	3,886	575,135
新潟県	0	0	0	1,738	48,174	98,086	451	9,243	1,495	24,917	0	0	35	8,114	288	4,505	175,735
山梨県	0	0	0	940	18,940	38,820	21	4,407	1,382	14,363	0	0	2	3,932	3	129	41,955
長野県	0	0	0	1,282	41,182	83,646	233	8,729	1,702	24,499	0	0	4	10,927	13	54	110,565
富山県	0	0	0	1,041	25,390	51,821	15	4,667	491	11,313	0	0	9	6,618	35	0	66,750
石川県	0	0	0	1,207	22,326	45,859	269	5,952	361	13,617	0	0	73	7,253	31	0	73,360
福井県	0	0	0	837	19,724	40,285	69	3,272	460	8,453	0	1	239	5,001	13	2	51,442
岐阜県	0	0	0	2,757	55,936	114,629	47	7,673	4,421	33,077	0	0	514	13,365	73	48	138,275
静岡県	0	0	0	4,798	84,366	173,530	82	18,740	1,995	45,542	0	3	170	20,928	5	3	210,271
愛知県	0	0	0	7,043	160,522	328,087	1,079	14,501	21,948	117,873	0	0	776	34,364	2,469	2,111	426,775
三重県	0	0	0	53	30,473	60,999	30	7,490	960	18,850	0	0	126	9,308	17	76	95,485
滋賀県	0	0	0	1,094	31,498	64,090	68	7,249	700	17,366	0	0	70	7,944	70	64	82,120
京都府	0	0	0	819	72,960	146,739	316	20,388	2,950	52,892	0	0	62	20,344	284	687	221,750
大阪府	0	0	0	9,575	273,783	557,141	2,699	76,076	10,892	198,419	0	0	277	52,555	2,442	7,895	721,465
兵庫県	0	0	0	5,117	116,406	237,929	424	31,693	6,582	90,138	0	0	205	28,985	232	74	295,835
奈良県	0	0	0	1,109	39,363	79,835	158	13,175	1,473	32,400	0	0	74	8,711	97	487	98,675
和歌山県	0	0	0	1,252	28,981	59,214	96	3,724	2,276	16,648	0	0	42	6,439	57	84	67,135
鳥取県	0	0	0	11	15,222	30,455		3,179	373	7,850	0	0	0	3,672	0	0	36,720
島根県	0	0	0	9	12,612	25,233	29	3,343	664	9,371	0	0	4	3,758	0	0	37,600
岡山県	0	0	0	1,049	46,649	94,347	248	9,526	2,076	27,604	0	14	107	11,565	6	6	116,423
広島県	0	0	0	982	71,146	143,274	107	7,283	4,299	31,869	0	0	356	27,638	1	4	278,255
山口県	0	0	0	185	40,235	80,655	2	7,868	869	19,214	0	0	0	7,734	0	0	77,340
徳島県	0	0	0	44	20,987	42,018		3,142	674	8,980	0	0	3	5,545	0	0	55,465
香川県	0	0	0	12	26,654	53,320		5,769	961	15,382	0	0	0	6,399	0	0	63,990
愛媛県	0	0	0	37	36,101	72,239	5	7,697	856	18,823	0	0	12	8,111	1	1	81,205
高知県	0	0	0	202	20,465	41,132		2,583	1,961	13,010	0	0	0	5,159	0	0	51,590
福岡県	0	0	0	498	138,618	277,734	203	20,350	12,434	90,639	0	0	486	28,649	1	60	290,135
佐賀県	0	0	0	17	17,521	35,059	7	1,256	1,529	8,635	0	0	0	3,471	0	0	34,710
長崎県	0	0	0	292	39,034	78,360	32	1,669	4,982	23,298	0	0	224	11,017	1	0	111,305
熊本県	0	0	0	509	50,922	102,353	34	9,712	3,043	31,630	0	0	226	10,154	0	2	102,710
大分県	0	0	0	131	30,098	60,327	24	1,948	3,639	18,476	0	0	123	7,558	0	8	76,355
宮崎県	0	0	0	26	27,680	55,386	11	3,029	2,317	15,337	0	0	87	6,156	0	85	63,695
鹿児島県	0	0	0	573	49,382	99,337	423	9,611	1,936	27,389	10	0	211	10,744	0	2	108,545
沖縄県	0	0	0	247	38,202	76,651	161	10,787	2,309	30,971	0	1	24	9,955	1	104	101,767
全国合計	0	5	10	119,441	3,192,531	6,504,503	17,851	670,620	182,001	2,087,095	13	54	13,724	739,400	20,727	43,940	8,652,446

3年度全国	0	3	6	118,917	3,177,568	6,474,053	17,827	669,635	183,146	2,089,681	9	34	13,045	736,032	21,837	46,405	8,681,277
3年度宮城	0	0	0	1,422	50,684	102,790	514	12,660	2,788	36,986	4	6	688	14,227	170	68	149,636

※換算数は200mLを1本として換算している。

## 4. 献血受入機関

県内の献血受入機関として、血液センターの献血バスが県内の各市町村を巡回しているほか、より多くの皆様に献血に協力いただくため、利便性の高い仙台市中心部の2か所に献血ルームを設置している。

### 献血バス

献血バスの巡回日程については、河北新報社の御厚意により河北新報朝刊紙面に掲載されている他、血液センターのホームページ上で公開している。

市町村・保健所と協力し巡回日程を調整し、お知らせしている。

### 献血ルーム

#### 杜の都献血ルームAOBA（一番町出張所）

所在地：〒980-0811 仙台市青葉区一番町 4-9-18 TIC ビル 6階

休業日：1/1、12/31

受付時間：全血献血 9:30～17:00  
：成分献血 9:30～16:30



#### 献血ルーム アエル20（仙台駅前出張所）

所在地：〒980-0021 仙台市青葉区中央 1-3-1 AER20 階

休業日：1/1、12/31

受付時間：全血献血 9:30～17:00  
：成分献血 9:30～16:30



## 5. 血液製剤供給機関

県内医療機関への輸血用血液製剤の供給は宮城県赤十字血液センターと、県北及び南三陸沿岸地域の医療機関により迅速に血液を届けるために設置された登米供給出張所の2か所で行っている。なお、県南地域の角田市、丸森町及び山元町の医療機関には、福島県赤十字血液センター相馬供給出張所から血液を届けることで、供給時間の短縮を図っている。

### 宮城県赤十字血液センター

所在地：〒981-3206 仙台市泉区明通 2 丁目 6-1

### 宮城県赤十字血液センター登米供給出張所

所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字小金丁 48 番 1 号



## 6. 宮城県の献血のあゆみ

昭和 26 年 (1951)	・ 民間血液銀行設立 (3 月)
昭和 27 年 (1952)	・ 日本赤十字社直轄の東京血液銀行設立 (4 月)
昭和 31 年 (1956)	・ 採血及び供給あっせん業取締法制定 (6 月)
昭和 36 年 (1961)	・ 仙台市に東北血液銀行設立 (11 月)
昭和 38 年 (1953)	・ 売血が「黄色い血」として大きな社会問題となる
昭和 39 年 (1964)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 血液事業正常化のため、献血について閣議決定</li> <li>・ 宮城県赤十字血液銀行を支部庁舎内に新設</li> <li>・ 愛の献血運動月間を設け、献血運動を始める</li> <li>・ 宮城県献血推進協議会設置、各市町村に献血推進協議会設置開始</li> <li>・ 宮城県赤十字血液銀行から宮城県赤十字血液センターと改称</li> </ul>
昭和 40 年 (1965)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮城県赤十字血液センター開所業務開始 (4 月)</li> <li>・ 献血バスいずみ号による献血開始</li> <li>・ 第 1 回献血運動推進全国大会開催 (東京)</li> </ul>
昭和 41 年 (1966)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮城県議会において献血推進について決議</li> <li>・ 県下 6 ヲ所に血液センター採血出張所を設置 (9 月、古川採血出張所・気仙沼採血出張所・築館採血出張所・白石採血出張所・角田採血出張所・石巻採血出張所)</li> </ul>
昭和 42 年 (1967)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立佐沼病院採血出張所開設 (3 月)、国立仙台病院採血出張所開設 (10 月)</li> <li>・ 献血者に知事記念品交付</li> </ul>
昭和 43 年 (1968)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本赤十字社中央血液センターを中心に需給調整機能を整備</li> <li>・ 宮城県献血推進功績者表彰要綱を制定し、第 1 回宮城県献血推進功績者表彰式</li> </ul>
昭和 44 年 (1969)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮城県いずみ友の会連合会結成</li> <li>・ 肝機能検査、HBs 抗原検査及び抗体スクリーニング検査開始</li> </ul>
昭和 45 年 (1970)	・ 東北血液銀行を宮城県赤十字血液センターに吸収合併し、同銀行の後に長町採血出張所開設 (4 月)、長町採血出張所廃止 (11 月)
昭和 47 年 (1972)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮城県赤十字血液センター新築移転 (仙台市昭和町 2-37、7 月)</li> <li>・ B 型肝炎ウイルス HBs の抗体検査開始</li> </ul>
昭和 49 年 (1974)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間商業血液銀行が預血制度廃止、献血 100% 体制確立</li> <li>・ 宮城臨床輸血研究会設置</li> </ul>
昭和 50 年 (1975)	・ 民放ラジオ各社協力のもと、はたちの献血運動開始
昭和 51 年 (1976)	・ 献血者 50 万人達成
昭和 52 年 (1977)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 13 回献血運動推進全国大会 (仙台市、宮城県民会館)</li> <li>・ 東北大学病院採血出張所開設 (3 月)</li> <li>・ 国立仙台病院採血出張所廃止 (6 月)</li> </ul>
昭和 54 年 (1979)	・ 採血用のガラスビンから塩化ビニール樹脂製の採血バッグに全面切替
昭和 55 年 (1980)	・ 献血手帳の献血優先還元の字句を抹消 (預血制度の廃止)
昭和 56 年 (1981)	・ 献血者 100 万人達成
昭和 57 年 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 献血手帳の供給記録欄削除</li> <li>・ 血液型と生化学的検査成績について、献血者全員に対する通知開始</li> </ul>
昭和 58 年 (1983)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道千歳市に血漿分画センター設立</li> <li>・ HBs 抗原陽性者への通知実施</li> </ul>
昭和 59 年 (1984)	・ 400mL 献血・成分献血の試行開始
昭和 60 年 (1985)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤崎献血ルーム開所 (12 月)</li> <li>・ 公立佐沼病院採血出張所廃止</li> <li>・ 広南病院採血出張所開設</li> <li>・ 宮城県献血推進大会 (中新田町パッハホール 720 人出席)</li> <li>・ 献血者 150 万人達成</li> </ul>

昭和 61 年 (1986)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 400mL 献血・成分献血開始</li> <li>・ 新採血基準施行、400mL 献血及び成分献血を本格開始</li> <li>・ HIV、HTLV-1 抗体検査開始</li> <li>・ 仙台駅北口献血ルーム開所(9 月)</li> <li>・ 宮城県献血推進大会(仙台市民会館 350 人出席)</li> </ul>
昭和 62 年 (1987)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮城県献血者登録制度推進委員会設置(日赤宮城県支部局長の下)</li> <li>・ 血液製剤使用適正化説明会開始</li> <li>・ 宮城県献血推進大会(多賀城市文化センター 750 人出席)</li> </ul>
昭和 63 年 (1988)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮城県献血推進大会(石巻文化センター 550 人出席)</li> </ul>
平成元年 (1989)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HCV、HBc 抗体検査開始</li> <li>・ 古川採血出張所廃止(6 月)、気仙沼採血出張所廃止(11 月)</li> <li>・ 一番町献血ルーム開所(12 月)</li> <li>・ 宮城県献血推進大会(岩沼市民会館 1,200 人出席)</li> <li>・ 献血者 200 万人達成</li> </ul>
平成 2 年 (1990)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 築館採血出張所廃止(5 月)</li> <li>・ HLA 適合血小板製剤の製造供給開始</li> <li>・ 国内の民間有償採血施設が閉鎖、日本の売血制度廃止</li> <li>・ 血液センター増改築</li> <li>・ 宮城県献血推進大会(栗原文化会館 800 人出席)</li> </ul>
平成 3 年 (1991)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広南病院採血出張所廃止(3 月)、東北大学病院採血出張所廃止(3 月)</li> <li>・ 新採血基準施行(採血間隔、血圧、体重別採漿量)</li> <li>・ 日本赤十字社血漿分画センターで血液凝固第Ⅷ因子製剤製造開始</li> <li>・ 宮城県献血推進大会(仙台市青年文化センター 700 人出席)</li> </ul>
平成 4 年 (1992)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白石採血出張所廃止(3 月)、角田採血出張所廃止(3 月)</li> <li>・ HCV 抗体陽性者へ告知開始</li> <li>・ 骨髄データセンター業務開始(血液センター内に設置)、本格的に骨髄提供希望者の登録を開始</li> <li>・ 第Ⅷ因子製剤「クロスエイトM」供給開始</li> </ul>
平成 5 年 (1993)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石巻採血出張所廃止(5 月)</li> <li>・ 自己血輸血に対する協力開始</li> <li>・ 国内の赤十字血液センターで統一システム(コンピュータ化)による一元化開始</li> </ul>
平成 6 年 (1994)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HIV-2 抗体検査開始</li> </ul>
平成 7 年 (1995)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮城県献血事業 30 周年記念式典(イズミティ 21 400 人出席)</li> <li>・ 日本赤十字社献血者顕彰規程(表彰制度)改正、問診項目強化</li> <li>・ 迫供給出張所を開設(4 月)、県内全域直配供給体制確立</li> </ul>
平成 9 年 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パルボウイルス B19 抗原検査開始</li> <li>・ 藤崎献血ルーム移転</li> <li>・ 献血者 300 万人達成</li> </ul>
平成 10 年 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放射線照射血液製剤の製造供給開始</li> </ul>
平成 11 年 (1999)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 核酸増幅(NAT)検査開始</li> <li>・ 献血可能年齢の上限が 64 歳から 69 歳へ引き上げられる</li> <li>・ 血液センターと迫供給出張所の供給管轄エリア変更(円滑な供給体制)</li> </ul>
平成 12 年 (2000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都府福知山市に血液管理センター竣工</li> <li>・ 血小板製剤の供給を全て「照射濃厚血小板」へ切替える(NAT 検査による有効期限)</li> </ul>
平成 13 年 (2001)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤崎献血ルームがリニューアルオープン</li> <li>・ 「けんけつくらぶ」開始</li> </ul>
平成 14 年 (2002)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(血液新法)」制定、一部施行(有料での採血等の禁止)</li> <li>・ 献血者 350 万人達成</li> </ul>
平成 15 年 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(血液新法)」施行(7 月)</li> </ul>
平成 16 年 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 次血液事業統一システムの宮城県内運用開始(2 月)</li> <li>・ 仙台駅北口献血ルーム廃止(5 月)、一番町献血ルーム廃止(5 月)</li> <li>・ 献血ルームアエル 20 開所(6 月)</li> <li>・ 献血受付時の本人確認開始(10 月)</li> <li>・ 保存前白血球除去成分献血由来血小板製剤供給開始(10 月)</li> </ul>

平成 17 年 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者発生に伴う献血制限実施</li> <li>・6 か月間貯留保管後新鮮凍結血漿製剤供給開始(7 月)</li> <li>・「複数回献血クラブ」開始</li> </ul>
平成 18 年 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形センターとの検査業務集約(4 月)</li> <li>・保存前白血球除去成分献血由来血漿製剤供給開始(9 月)</li> <li>・グロブリン製剤「ポリグロビンN 注 5%」供給開始(9 月)</li> <li>・献血カード「愛-Ca(アイカ)」開始(10 月)</li> <li>・「献血者健康被害救済制度」開始(10 月)</li> <li>・初流血除去成分由来血小板製剤供給開始(10 月)</li> </ul>
平成 19 年 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存前白血球除去全血献血由来赤血球製剤供給開始(1 月)</li> <li>・初流血除去全血由来製剤供給開始(3 月)</li> <li>・保存前白血球除去全血献血由来血漿製剤供給開始(7 月)</li> <li>・宮城県赤十字血液センター移転新築工事着工(7 月)</li> <li>・献血者 400 万人達成(8 月 29 日)</li> <li>・岩手及び秋田センターとの検査業務集約(9 月)</li> </ul>
平成 20 年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形センターとの製造業務集約(3 月)</li> <li>・宮城県赤十字血液センター新社屋竣工(3 月)</li> <li>・新社屋開所業務開始(泉区明通 2-6-1、6 月)</li> <li>・初流血除去成分由来血漿製剤供給開始(7 月)</li> <li>・青森及び福島センターとの検査業務集約、東北全域の検査業務集約完了(8 月)</li> </ul>
平成 21 年 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病関連検査「グリコアルブミン」検査と通知の開始(3 月)</li> <li>・岩手センターとの製造業務集約(3 月)</li> <li>・藤崎献血ルーム廃止(11 月)</li> <li>・杜の都献血ルーム AOBA 開所(12 月)</li> </ul>
平成 22 年 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者発生に伴い実施されていた献血制限の一部緩和(1 月)</li> <li>・血球計数検査成績の通知対象者を 200mL 献血者へ拡充(12 月)</li> </ul>
平成 23 年 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災(3 月 11 日)</li> <li>・採血基準の変更(4 月)</li> <li>・秋田センターとの製造業務集約(5 月)</li> </ul>
平成 24 年 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島及び青森センターとの製造業務集約、東北全域の集約完了(3 月)</li> <li>・広域事業運営体制開始および東北ブロック血液センター業務開始(4 月)</li> </ul>
平成 25 年 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迫供給出張所廃止(3 月)、登米供給出張所開所(登米市内に新築移転、4 月)</li> </ul>
平成 26 年 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液事業情報システム供給部門の全国一斉運用開始(5 月)</li> <li>・血液事業情報システム供給部門以外の東北ブロック運用開始(6 月)</li> <li>・献血者 1 人分の血液ごとに NAT(核酸増幅検査)を行う「個別 NAT」の東北ブロックでの開始(8 月)</li> <li>・分割製造用血小板採血開始(11 月)</li> </ul>
平成 27 年 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血漿分画製剤の平成 27 年 4 月から民間の国内製造業者にて製造・供給することに伴う、日本赤十字社での血漿分画製剤供給の終了(3 月末)</li> </ul>
平成 28 年 (2016)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝機能値(ALT 値)による検査不合格基準見直し実施(4 月)</li> <li>・照射洗浄血小板供給開始(9 月)</li> </ul>
平成 29 年 (2017)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照射洗浄血小板 HLA 供給開始(5 月)</li> </ul>
平成 30 年 (2018)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「複数回献血クラブ」の愛称名を「ラブラッド」に全国統一し、Web 会員サービスをリニューアル(10 月)</li> <li>・献血者 500 万人達成(12 月 9 日)</li> </ul>
令和元年 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症検査機器を CL4800 から ARCHITECT に変更(6 月)</li> </ul>
令和 2 年 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断基準(血圧・脈拍・体温)の新基準開始(9 月)</li> </ul>
令和 3 年 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HTLV-1 抗体偽陽性及び HBV/NAT 偽陽性の献血者への通知開始(11 月)</li> </ul>
令和 4 年 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・献血カードのアプリ開始(9 月)</li> </ul>

## 7. 宮城県献血推進協議会条例

(設置等)

第1条 知事の諮問に応じ、献血の推進に関する重要事項を審議するため、宮城県献血推進協議会(以下「協議会」という)を置く。

2 協議会は、前項に規定する重要事項に関し知事に意見を述べることができる。

(組織等)

第2条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者、市町村長、医療関係団体の役員又は職員、関係行政機関及び県の職員その他知事が適当と認める者のうちから、知事が任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第3条 協議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 協議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第5条 協議会は、必要があると認めるときは、議事に係る関係者又は専門家に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な書類の提出を求めることができる。

(委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。



## 8. 宮城県献血推進協議会名簿

(五十音順、敬称略、令和5年4月1日現在)

委 嘱 職 名	団 体 名 ・ 職 名 等	氏 名
会 長	東北大学大学院医学系研究科 血液・免疫病学分野教授	張 替 秀 郎
副 会 長	宮城県地域活動連絡協議会長 (母親クラブ)	佐々木 とし子
委 員	赤十字奉仕団宮城県支部委員会委員長	大 内 修 道
〃	宮城県私立中学高等学校連合会 学校法人仙台育英学園理事長	加 藤 雄 彦
〃	ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区名誉顧問	木川田 明弘
〃	株式会社河北新報社総務局経理部長	小 松 弘 人
〃	宮城県保健福祉事務所長等会議保健・医療専門部会 保健福祉部技術参事兼仙台保健福祉事務所保健医療監 兼塩釜保健所長	西 條 尚 男
〃	公益社団法人宮城県医師会会長	佐 藤 和 宏
〃	宮城県教育委員会教育長	佐 藤 靖 彦
〃	宮城県高等学校長協会 宮城県立利府支援学校校長	杉 浦 誠 一 郎
〃	一般社団法人宮城県薬剤師会副会長	富 永 敦 子
〃	一般社団法人宮城県経営者協会専務理事	成 田 努
〃	仙台市保健所長	林 敬
〃	公募委員	松 川 康 子
〃	宮城県赤十字血液センター所長	峯 岸 正 好
〃	仙台市社会学級研究会会長	若 生 彩
〃	日本赤十字社宮城県支部事務局長	渡 辺 達 美
〃	宮城県青年会議事務局長	渡 辺 能 久

(任期 令和5年8月31日まで)

## 宮城県保健福祉部薬務課

仙台市青葉区本町三丁目 8 番 1 号

(022-211-2652)

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/yakumu/>

## 宮城県赤十字血液センター

仙台市泉区明通二丁目 6 番 1 号

(022-290-2501)

<http://www.miyagi.bc.jrc.or.jp/>